

時間割コード	KB7801	ナンバリング	KB-HUM-131-JEP	科目分野	一般講義
開講曜日・時限	木3	単位数	1	日英区分	日本語
対象学生	全学共通	対象年次	2年次～4年次		
開講年度	2020年度前期 共通教育（基盤・教養・教育学部以外の教職）				
科目名	思想・文学				
担当教員（ローマ字表記）	井澤 耕一				
シラバス用備考	【前期】				

## 授業題目/Title

江戸時代の思想と文化、制度

## 授業の概要/Course Overview

本講義では、日本の江戸時代を中心にして、そこで展開した思想と文化さらに制度などについて、毎時テーマを設けて講義していく。いわゆる教科書的な知識ではなく、日本近世の諸相を様々な角度から検証し、また明治時代以後の日本および中国、朝鮮などの東アジア諸国とも比較しながら、多角的に紹介していく。

## キーワード/Keyword(s)

江戸時代、日本思想史、東アジア思想、儒教、仏教、近代日本、日本近世制度史

## 到達目標/Learning Objectives

史料を熟読して、日本近世の様相を理解できる。江戸時代の人々の諸思想を理解できる。授業中講義した事柄を、学問的見地から分析・考察した上で、それを文章で正確に表現できる。

## 授業及び授業外の学修/Lesson plans & homework

- 第1回 シラバスを用いたガイダンス
- 第2回 概説：江戸時代とは—思想史の視点から
- 第3回 記憶としての墓—豊臣秀吉が如何に葬られ、祀られてきたか
- 第4回 思想史から見た徳川家康—その葬礼
- 第5回 将軍家の墓所—増上寺と寛永寺の相克
- 第6回 浮世絵の世界
- 第7回 博物館、美術館展示における江戸時代
- 第8回 江戸の妖怪革命

### 【授業外学修】

- ①高校日本史教科書の「江戸時代」部分を必ず読了しておくこと。
- ②参考書に挙げた書籍を必ず読了しておくこと。
- ③本授業で扱う時代は「江戸時代」であるため、この時代を扱った書籍、雑誌、テレビ番組などを、日頃から関心を持って読んだり、見たりすること。（例）BS-TBS「にっぽん歴史鑑定」（毎週月曜日よる10時～） NHK「歴史秘話ヒストリア」（毎週水曜日よる10：25～）
- ④授業を受講した後、課外時間に配布されたプリントは必ず再読しておくこと。
- ⑤授業中紹介された書籍や論文を図書館や書店で探し、最低、当該箇所は精読すること。
- ⑥受講者が日ごろから興味関心を持っている事柄が、「江戸時代」と関連しないかを考え、もし関連するものがあれば、それをテーマに、ぜひ資料調査などを行ってほしい。
- ⑦授業において不明の点があれば、そのまま放置せず、授業終了後、質問をするか、メール（koichi.izawa.2525@vc.ibaraki.ac.jp）で担当教員に尋ねること。

### 【アクティブ・ラーニング】

第2回から第8回目の授業中、適時「今日の課題」を提示するので、その場合受講者には次の授業日までに小レポートを提出してもらう。提出されたレポートについては採点し、成績評価に加える。

## 履修上の注意/Notes

- ・ 講義時に配布するプリントは原則として再発行しないので紛失しないこと。
- ・ 私語、遅刻は講義の円滑な進行の妨げになるので厳しくこれを禁ずる。

## 情報端末の活用

無し

## 成績評価基準/Evaluation criteria

A+ : 90点以上100点	授業内容を十分に理解し、きわめて優れた学修成果を上げている。
A : 80点以上90点未満	授業内容をほぼ理解し、優れた学修成果を上げている。
B : 70点以上80点未満	授業内容を概ね理解し、かつ学修成果も概ね達成している。
C : 60点以上70点未満	合格と認められる最低限の到達目標に届いている。
D : 60点未満	授業内容をほとんど理解しておらず、再履修が必要である。

## 成績の評価方法/Grading

レポート：（80点）/不定期に実施する小レポート（20点）

## 教科書/Textbook(s)

備考	教科書：特になし
----	----------

## 参考書/Reference Book(s)

### 参考書1

書名	概説日本思想史
著者名	佐藤弘夫 編集委員代表
出版社	ミネルヴァ書房
出版年	2005
ISBN	4623043037
教材費	3200

### 参考書2

書名	日本政治思想史：十七～十九世紀
著者名	渡辺浩 著
出版社	東京大学出版会
出版年	2010
ISBN	4130331000

教材費	3600
-----	------

参考書3

書名	江戸時代とはなにか：日本史上の近世と近代
著者名	尾藤 正英 著
出版社	岩波書店
出版年	
ISBN	4000002074
教材費	

関連するディプロマ・ポリシーの要素・能力

世界の俯瞰的理解	◎
専門分野の学力	◎
課題解決能力	○
コミュニケーション力	○
実践的英語力	△
社会人としての姿勢	○
地域活性化志向	△

アクティブ・ラーニング型科目

○
---

PBL科目

--

地域志向科目

--

使用言語

日本語のみ
-------

実務経験のある教員による授業科目

--

実践的教育から構成される授業科目

--

社会人リカレント教育（専門コース・カスタムコース）

授業科目提供		受講条件等	
--------	--	-------	--

時間割コード	KB7802	ナンバリング	KB-HUM-131-JEP	科目分野	一般講義
開講曜日・時限	木3	単位数	1	日英区分	日本語
対象学生	全学共通	対象年次	2年次～4年次		
開講年度	2020年度前期 共通教育（基盤・教養・教育学部以外の教職）				
科目名	思想・文学				
担当教員（ローマ字表記）	櫻井 豪人				
シラバス用備考	【前期】				

## 授業題目/Title

変体仮名を読む

## 授業の概要/Course Overview

変体仮名とは明治中期まで用いられていた平仮名のことであり、国語史研究や国文学研究を行う者にとって変体仮名の判読能力は必須であるが、そうでない者にとっても、「きそば」「うなぎ」の看板から美術館・博物館の展示資料まで、日常生活の中で変体仮名に接することがある。本講義では、特に江戸期の変体仮名や主な漢字のくずし字が読めるようになることを第一目標に掲げ、様々な資料を題材として判読の訓練を行う。

## キーワード/Keyword(s)

変体仮名・くずし字・判読・日本古典文学・国語学・平仮名

## 到達目標/Learning Objectives

- ① 主な変体仮名の字源と頻出する漢字のくずし字を覚え、文字そのものが読み取れるようになる。
- ② 実際の文章にふれて判読のコツをつかみ、文意が把握できるようになる。
- ③ 江戸期の変体仮名で書かれた簡単な仮名文学作品について、何も見なくとも解読できるようになる。

## 授業及び授業外の学修/Lesson plans & homework

※補講を1回行うので、計9回の授業となる。

第1回：【授業内容】シラバスを用いたガイダンス・現行の平仮名の字源

【授業外学修】授業で習った現行の平仮名の字源を覚えてくること。

第2回：【授業内容】古活字版『伊曾保物語』の判読 その1 目次の判読①

【授業外学修】習った変体仮名や漢字のくずし字を覚えてくること。習ったところまでの復習と、次回の授業の予習をしてこること。

第3回：【授業内容】古活字版『伊曾保物語』の判読 その3 目次の判読②

【授業外学修】習った変体仮名や漢字のくずし字を覚えてくること。習ったところまでの復習と、次回の授業の予習をしてこること。

第4回：【授業内容】古活字版『伊曾保物語』の判読 その3 本文の判読①

【授業外学修】習った変体仮名や漢字のくずし字を覚えてくること。習ったところまでの復習と、次回の授業の予習をしてこること。

第5回：【授業内容】古活字版『伊曾保物語』の判読 その4 本文の判読②

【授業外学修】習った変体仮名や漢字のくずし字を覚えてくること。習ったところまでの復習と、次回の授業の予習をしてこること。

第6回：【授業内容】御伽草子『一寸法師』の判読 その1

【授業外学修】習った変体仮名や漢字のくずし字を覚えてくること。習ったところまでの復習と、次回の授業の予習をしてこること。

第7回：【授業内容】御伽草子『一寸法師』の判読 その2

【授業外学修】習った変体仮名や漢字のくずし字を覚えてくること。習ったところまでの復習と、次回の授業の予習をしてこること。

第8回：【授業内容】御伽草子『一寸法師』の判読 その3

【授業外学修】習った変体仮名や漢字のくずし字を覚えてくること。習ったところまでの復習と、次回の授業の予習をしてこること。

第9回：【授業内容】質問受付および解説（45分）・試験（45分）

## 履修上の注意/Notes

補講を1回行うことについて、あらかじめ承知しておくこと。（5月28日の予備日に行う予定。）また、授業時間外の予習・復習を怠ったり、授業に欠席したりすると、十分な判読能力が身につかず、試験に合格できない可能性が高くなるので注意すること。質問は講義終了後に適宜受け付ける。遅刻は認めない。

## 情報端末の活用

情報端末は用いない。

## 成績評価基準/Evaluation criteria

A+：	90点以上100点	到達目標を十分に達成し、きわめて優れた学修成果を上げている。
A：	80点以上90点未満	到達目標を達成し、優れた学修成果を上げている。
B：	70点以上80点未満	到達目標と学修成果を概ね達成している。
C：	60点以上70点未満	合格と認められる最低限の到達目標に届いている。
D：	60点未満	到達目標に届いておらず、再履修が必要である。

## 成績の評価方法/Grading

期末試験100%。（評価の観点には到達目標の①②③。）期末試験は江戸期の喃本等の影印から出題し、翻字を課すとともに、一部の仮名について字源を問う。

## 教科書/Textbook(s)

備考	プリントを配布する。
----	------------

## 参考書/Reference Book(s)

参考書1

書名	江戸のかな
著者名	樋口政則
出版社	名著出版
出版年	1991
ISBN	
教材費	3000

## 関連するディプロマ・ポリシーの要素・能力

世界の俯瞰的理解	<input type="radio"/>
----------	-----------------------

専門分野の学力	◎
課題解決能力	○
コミュニケーション力	△
実践的英語力	△
社会人としての姿勢	△
地域活性化志向	△

### アクティブ・ラーニング型科目

--

### PBL科目

--

### 地域志向科目

--

### 使用言語

日本語のみ
-------

### 実務経験のある教員による授業科目

--

### 実践的教育から構成される授業科目

--

### 社会人リカレント教育（専門コース・カスタムコース）

授業科目提供	○	受講条件等	
--------	---	-------	--

時間割コード	KB7803	ナンバリング	KB-HUM-131-COE,JEP	科目分野	一般講義
開講曜日・時限	木3	単位数	1	日英区分	日本語
対象学生	全学共通	対象年次	2年次～4年次		
開講年度	2020年度前期 共通教育（基盤・教養・教育学部以外の教職）				
科目名	思想・文学				
担当教員（ローマ字表記）	杉本 妙子				
シラバス用備考	【前期】				

## 授業題目/Title

茨城の方言と民俗

## 授業の概要/Course Overview

地域の暮らしの中で培われてきたことばである方言について、茨城方言を例に理解を深める。テキストを用いて茨城方言を知るとともに、方言に表れている地域の暮らし・生活文化やその変化についても、具体的な方言に触れながら理解を深めていく。さらに、方言談話や方言昔話を聴いたり、身近な暮らしの中で使われている方言について考えたりしながら、方言の持つ働きや意味を考えていく。

## キーワード/Keyword(s)

方言・共通語 茨城方言 茨城の民俗 茨城の暮らし 生活文化 方言談話 昔話と方言

## 到達目標/Learning Objectives

- (1)方言（方言と共通語）について、正しく理解できる。
- (2)茨城方言の特色、他方言との共通性や違い等の知識を深める。
- (3)方言談話や方言昔話をとおして、方言の働きや方言を支える地域の暮らしについて深く理解できる。

## 授業及び授業外の学修/Lesson plans & homework

- 第1回 シラバスを用いて、授業の内容・進め方について説明、「方言」とは？  
（振り返りシート）「方言」とはどのようなものかを、授業の途中と最後にシートに記入し、認識の違いを確認する。
- 第2回 茨城方言を知る①：なぜ「イバラギ」か？～茨城方言の特色～  
（ミニツッパーパー）茨城方言の特色について、新たに知ったことや理解したことをまとめて記入する。
- 第3回 茨城方言を知る②：茨城方言を知ろう、使ってみよう1「ペ・ベ」  
（ロールプレイ）（クリエイティブ・セッション）学んだ茨城方言を使って小グループで会話文を作り、実際に会話のやり取りするなどしながら、茨城方言への理解を深める。
- 第4回 茨城方言を知る③：茨城方言を知ろう、使ってみよう2「さ」「け・げ」  
（ロールプレイ）（クリエイティブ・セッション）学んだ茨城方言を使って小グループで会話文を作り、実際に会話のやり取りするなどしながら、茨城方言への理解を深める。
- 第5回 方言と暮らし①：生活の中の方言と地域的な広がり、暮らしの変化と方言、茨城の民俗  
（録音資料活用学習）方言談話で語られた暮らしについてメモを作りながら録音資料を聴く。
- 第6回 方言と暮らし②：茨城方言のあいさつと暮らし  
（録音資料活用学習）あいさつが地域の暮らしを反映するものであることやあいさつの多様性についてメモを作りながら録音資料を聴く。
- 第7回 方言の持つ意味を考える  
（映像活用学習）提示した方言項目に注目しながら映像（または録音資料）を視聴する。
- 第8回 まとめ（45分）、期末テスト（45分）

【授業外学修】



- (1) 予習として、教科書ならびに事前に配布等するプリントで予備知識をつけておく。
- (2) 復習として、配布プリントや講義内容を見直すとともに、教科書・参考書や各種方言辞典等を参考に理解を深める。
- (3) 課題として、日常生活の中に見られる方言の使用についての観察・考察等の提出を求める。茨城方言や各地の方言について実際に関心を持って聴いてみることや、方言について他者と話してみることも学びの一つとして心がけてほしい。

## 履修上の注意/Notes

授業時の方言会話は積極的に行うこと。身近な暮らしやことば（方言）を日常的に観察するように心がけること。遅刻2回で欠席1回と見なす。授業時間内に若干の質問時間を設ける予定であるが、時間が不足する場合は、授業時間後または電子メールで対応する。

## 情報端末の活用

講義資料（テキスト）は教務情報ポータルシステムで事前配信するので、各自、プリントアウトしておく、PCを持参するなどすること。

## 成績評価基準/Evaluation criteria

- A+：茨城の方言についての基本的な知識や方言の働きについて十分に理解・修得し、さらに説明できている。  
A：茨城の方言についての基本的な知識や方言の働きについて修得し、説明できている。  
B：茨城の方言についての基本的な知識や方言の働きについて概ね修得し、説明できている。  
C：茨城の方言についての基本的な知識や方言の働きについて最低限の修得をしており、説明できている。  
D：茨城の方言についての基本的な知識や方言の働きについて修得できておらず、説明もできていない。

## 成績の評価方法/Grading

期末テスト60%、小レポート20%、課題・授業への貢献20%で評価。期末テストでは、到達目標(1)(2)について問う。小レポートでは、到達目標(3)への接近度を確認して評価する。

## 教科書/Textbook(s)

教科書1

書名	しみじみ楽しく茨城のことば
著者名	杉本妙子編
出版社	(茨城大学)
出版年	2015
ISBN	
教材費	0

備考 上記教科書のほか、適宜、プリントを配布等する。

## 参考書/Reference Book(s)

参考書1

書名	日本のふるさとことば集成 第4巻 茨城・栃木
著者名	国立国語研究所編
出版社	国書刊行会
出版年	2002
ISBN	336043647

教材費	6800
-----	------

参考書2

書名	ガイドブック方言研究
著者名	小林隆・篠崎晃一編
出版社	ひつじ書房
出版年	2003
ISBN	4894761831
教材費	1800

参考書3

書名	方言学入門
著者名	木部暢子・他
出版社	三省堂
出版年	2013
ISBN	9784385363936
教材費	1800

参考書4

書名	茨城方言民俗語辞典
著者名	赤城毅彦
出版社	東京堂出版
出版年	1991
ISBN	449012968
教材費	11000

関連するディプロマ・ポリシーの要素・能力

世界の俯瞰的理解	◎
専門分野の学力	
課題解決能力	
コミュニケーション力	○
実践的英語力	
社会人としての姿勢	
地域活性化志向	○

アクティブ・ラーニング型科目

○
---

PBL科目

--

## 地域志向科目

○
---

## 使用言語

日本語のみ
-------

## 実務経験のある教員による授業科目

--

## 実践的教育から構成される授業科目

--

## 社会人リカレント教育（専門コース・カスタムコース）

授業科目提供		受講条件等	
--------	--	-------	--

時間割コード	KB7804	ナンバリング	KB-HUM-111	科目分野	一般講義
開講曜日・時限	金4	単位数	1	日英区分	日本語
対象学生	L P S	対象年次	2年次～4年次		
開講年度	2020年度後期 共通教育（基盤・教養・教育学部以外の教職）				
科目名	歴史・考古学				
担当教員（ローマ字表記）	高橋 修				
シラバス用備考	【後期】				

## 授業題目/Title

描かれた戦国合戦の光景－中世日本の戦う男たち－

## 授業の概要/Course Overview

戦国時代の合戦を、極彩色の細密画で豪華絢爛に再現した「戦国合戦図屏風」。投影された屏風絵の図像を鑑賞しながら、戦国時代の合戦に思いを馳せつつ図像を分析・解釈し、その成立の裏側にあった大名家の思惑や意図を読み解きます。

## キーワード/Keyword(s)

歴史学 史料 戦国時代 戦国合戦 大名 合戦図屏風

## 到達目標/Learning Objectives

- ・歴史を復元する素材としての史料について知ることができる。
- ・史料から歴史を復元する過程や方法について知ることができる。
- ・史料が残された背景、史料が語る歴史と語らない歴史について、認識することができる。

## 授業及び授業外の学修/Lesson plans & homework

- 第1回 シラバスを用いたガイダンス ー戦国合戦とは何か？「戦国合戦図屏風」とは何か？ー  
【授業外学修】レジュメ、参考文献を用いて、授業内容の復習をしておくこと
- 第2回 川中島の戦いー謙信・信玄の一騎打ち図像が語るものー  
【授業外学修】レジュメ、参考文献を用いて、授業内容の復習をしておくこと
- 第3回 長篠の戦いー信長ではなく家康の戦勝ー  
【授業外学修】レジュメ、参考文献を用いて、授業内容の復習をしておくこと
- 第4回 長久手の戦いーもうひとつのいくさ物語ー  
【授業外学修】レジュメ、参考文献を用いて、授業内容の復習をしておくこと
- 第5回 関ヶ原の戦いー聳え立つモニュメントー  
【授業外学修】レジュメ、参考文献を用いて、授業内容の復習をしておくこと
- 第6回 大坂冬の陣ー戦場の現実を語るー  
【授業外学修】レジュメ、参考文献を用いて、授業内容の復習をしておくこと
- 第7回 大坂夏の陣ー元和のゲルニカ、合戦の記憶ー  
【授業外学修】レジュメ、参考文献を用いて、授業内容の復習をしておくこと
- 第8回 前半 まとめー戦国合戦はなぜ描かれたのか？ 後半 期末試験  
【授業外学修】レジュメ、参考文献を用いて、授業内容の復習をしておくこと

## 履修上の注意/Notes

パソリで出欠を確認するので、学生証を毎回持参すること（忘れてきた場合は欠席扱いとなる）。

## 情報端末の活用

通常の授業では、情報端末は使用しない。  
最終回にはアンケートを実施するので、スマホを使用する。

## 成績評価基準/Evaluation criteria

- A + : 日本史学の基本的な知識と考え方を十分に修得し、さらにその仕組みについて説明できている。  
A : 日本史学の基本的な知識と考え方を修得し、さらにその仕組みについて説明できている。  
B : 日本史学の基本的な知識と考え方を概ね修得し、さらにその仕組みについて説明できている。  
C : 日本史学の基本的な知識と考え方について最低限の修得をしており、さらにその仕組みについて説明できている。  
D : 日本史学の基本的な知識と考え方が修得できておらず、さらにその仕組みについての説明ができていない。

## 成績の評価方法/Grading

期末試験100%で評価する。

## 教科書/Textbook(s)

備考	教科書 なし。 参考文献 歴史学研究会編『戦争と平和の中近世史』（青木書店）、藤本正行『信長の戦争』（講談社）、 谷口央編『関ヶ原合戦の深層』（高志書院）、堀新編『信長公記を読む』（吉川弘文館）、 渡辺武『戦国のゲルニカ』（新日本出版社）
----	--

## 参考書/Reference Book(s)

### 参考書1

書名	絵で知る日本史 1～30
著者名	
出版社	集英社
出版年	
ISBN	
教材費	

### 参考書2

書名	図説 戦国合戦図屏風
著者名	
出版社	学研
出版年	
ISBN	
教材費	

### 参考書3

書名	長篠合戦の史料学
----	----------

著者名	
出版社	勉誠出版
出版年	
ISBN	
教材費	

参考書4

書名	もうひとつの川中島合戦
著者名	
出版社	洋泉社
出版年	
ISBN	
教材費	

関連するディプロマ・ポリシーの要素・能力

世界の俯瞰的理解	
専門分野の学力	◎
課題解決能力	◎
コミュニケーション力	
実践的英語力	
社会人としての姿勢	○
地域活性化志向	○

アクティブ・ラーニング型科目

--

PBL科目

--

地域志向科目

--

使用言語

日本語のみ
-------

実務経験のある教員による授業科目

県立博物館学芸員として地域に即した研究を行ってきた教員による講義科目である。
--

## 実践的教育から構成される授業科目

--

## 社会人リカレント教育（専門コース・カスタムコース）

授業科目提供		受講条件等	
--------	--	-------	--

時間割コード	KB7805	ナンバリング	KB-HUM-111	科目分野	一般講義
開講曜日・時限	木3	単位数	1	日英区分	日本語
対象学生	全学共通	対象年次	2年次～4年次		
開講年度	2020年度前期 共通教育（基盤・教養・教育学部以外の教職）				
科目名	人間科学				
担当教員（ローマ字表記）	野口 康彦				
シラバス用備考	【前期】				

## 授業題目/Title

人間の心と行動

## 授業の概要/Course Overview

人間の心と行動に深くかかわるものには、脳の動きはもちろんのこと、身体や精神の発達あるいは障害といった出来事から、社会的な集団まで幅広い要因があります。講義を通して、人間の心や行動の仕組みに関する基本的な知識について理解を深めます。

ディプロマポリシー：【専門分野の学力】、【課題解決能力】、【コミュニケーション力】

## キーワード/Keyword(s)

・記憶、学習、認知、ストレス、子ども虐待、パーソナリティ、コミュニケーション

## 到達目標/Learning Objectives

・心理学に関する基本的な知識（記憶、学習、認知、ストレス、パーソナリティ、コミュニケーション）について理解できる。

## 授業及び授業外の学修/Lesson plans & homework

- 1) シラバスを用いたガイダンス：心理学とは
- 2) 記憶と心理
- 3) 学習と行動、動機づけ
- 4) 感覚と知覚
- 5) ストレスと適応
- 6) パーソナリティ
- 7) 対人関係とコミュニケーション
- 8) まとめ(45分)、試験(45分)

### 【授業外学修】

- ・講義資料は、可能な限り事前に配布するので、必ず授業前に読み、分からない用語などは、あらかじめ調べておくこと。
- ・テキストの指定はしないが、キーワードなど、関連の文献を読んで、心理学の基礎的な知識については、事前に学修しておくこと。

## 履修上の注意/Notes

- (1) 毎回、レジュメと必要に応じて参考資料を配布します。
- (2) パワーポイント、VTRなど、視覚的な資料を用いることがあります。
- (3) オフィスアワーは、火曜日の昼休みです。



(4) 予定は変更となる場合があります。

## 情報端末の活用

当該授業での情報端末は使用しません。

## 成績評価基準/Evaluation criteria

- A+ : 心理学の基本的な知識と考え方を十分に修得し、人間の心や行動の仕組みについて説明できている。  
A : 心理学の基本的な知識と考え方を修得し、人間の心や行動の仕組みについて説明できている。  
B : 心理学の基本的な知識と考え方を概ね修得し、人間の心や行動の仕組みについて説明できている。  
C : 心理学の基本的な知識と考え方について最低限の修得をしており、人間の心や行動の仕組みについて説明できている。  
D : 心理学の基本的な知識と考え方が修得できておらず、人間の心や行動の仕組みについての説明ができていない。

## 成績の評価方法/Grading

8回目の授業で行う試験（100%）により評価します。評価の基準は到達目標であり、主として基本的な知識の理解度を中心とした試験問題により評価します。また、試験問題には、到達目標に基づいた論述式の設問も含まれています。

## 教科書/Textbook(s)

## 参考書/Reference Book(s)

参考書1

書名	キーワードコレクション 心理学
著者名	重野純
出版社	新曜社
出版年	
ISBN	
教材費	3740

## 関連するディプロマ・ポリシーの要素・能力

世界の俯瞰的理解	
専門分野の学力	○
課題解決能力	○
コミュニケーション力	◎
実践的英語力	
社会人としての姿勢	○
地域活性化志向	

## アクティブ・ラーニング型科目

--

## PBL科目

--

## 地域志向科目

--

## 使用言語

--

## 実務経験のある教員による授業科目

臨床心理士、公認心理師
-------------

## 実践的教育から構成される授業科目

--

## 社会人リカレント教育（専門コース・カスタムコース）

授業科目提供		受講条件等
--------	--	-------

時間割コード	KB7806	ナンバリング	KB-HUM-131	科目分野	一般講義
開講曜日・時限	木3	単位数	1	日英区分	日本語
対象学生	全学共通	対象年次	2年次～4年次		
開講年度	2020年度前期 共通教育（基盤・教養・教育学部以外の教職）				
科目名	人間科学				
担当教員（ローマ字表記）	田原 敬				
シラバス用備考	【前期】				

## 授業題目/Title

ことばの発達と障害

## 授業の概要/Course Overview

我々がコミュニケーションを行う際に当然のように使用している「ことば」について、乳幼児期から幼児期までを中心に、1) どのようなプロセスを経て獲得するのか、2) 障害があるとことばの獲得にどのような影響が生じるのか、という内容について講義を行う

## キーワード/Keyword(s)

ことばの発達, 乳幼児, 幼児, 障害, 特別支援教育

## 到達目標/Learning Objectives

- ・ことばの発達の概要について論じることができる
- ・障害とことばの発達の関係について概要を論じることができる
- ・ことばの発達に応じた対応の仕方について自分なりの考えを論じることができる

## 授業及び授業外の学修/Lesson plans & homework

- 第1回：シラバスを用いたガイダンス/ことばの遅れについて考える  
 第2回：乳幼児期～3歳頃までの発達  
 第3回：3歳頃～就学前までの発達  
 第4回：発声のメカニズムと構音の問題  
 第5回：ことばの遅れと障害①（聴覚障害など）  
 第6回：ことばの遅れと障害②（発達障害など）  
 第7回：ことばの発達に応じた支援  
 第7.5回：事例の紹介

### 【授業外学習】

- (1) 毎回の授業では事前にポータルシステム上に授業資料を提示しておくので確認しておくこと。
- (2) 授業終了後は、リアクションペーパーに書いた質問項目について自身でも調べておくこと。
- (3) 日常で子どもを見た際に、授業の内容を踏まえその様子を観察することも復習になる。

### 【アクティブ・ラーニング】

- (1) 全体を通してワークシートの使用、映像活用を行う。受講数にも夜が、第7回と第7.5回ではグループワークも予定している。
- (2) 毎回の授業後にリアクションペーパーに授業の要点及び疑問点をまとめて提出する。

全体に共通すること

【リアクションペーパー】毎回の授業において配布し、各回の内容を自分なりにまとめる時間を設ける

## 履修上の注意/Notes

- (1) 原則として授業開始より30分経過以降の遅刻は認めない。
- (2) 毎回の授業時に配られるリアクションペーパーの提出をもって出席とみなす。
- (3) 毎回ポータルシステムを通じて授業資料を配信する。授業時には資料配布を行わないので注意すること（必要があれば各自で印刷等行うこと）。

## 情報端末の活用

履修上の注意を参照。

## 成績評価基準/Evaluation criteria

- A+:到達目標の3点について極めて高いレベルで達成されている。  
A:到達目標の3点について高いレベル以上で達成されている。  
B:到達目標の3点についておおむね以上のレベルで達成されている。  
C:到達目標の3点について最低限のレベル以上において達成されている。  
D:到達目標の3点のうち1点以上について全く達成されていない。

## 成績の評価方法/Grading

期末試験にて成績を評価する（100％）。

## 教科書/Textbook(s)

備考	教科書：特になし
----	----------

## 参考書/Reference Book(s)

参考書1

書名	健診とことばの相談：1歳6か月児健診と3歳児健診を中心に
著者名	中川信子 著
出版社	ぶどう社
出版年	1998
ISBN	978-4892401381
教材費	2000

## 関連するディプロマ・ポリシーの要素・能力

世界の俯瞰的理解	○
専門分野の学力	◎
課題解決能力	
コミュニケーション力	△
実践的英語力	
社会人としての姿勢	

地域活性化志向	
---------	--

### アクティブ・ラーニング型科目

○
---

### PBL科目

--

### 地域志向科目

--

### 使用言語

日本語のみ
-------

### 実務経験のある教員による授業科目

--

### 実践的教育から構成される授業科目

--

### 社会人リカレント教育（専門コース・カスタムコース）

授業科目提供		受講条件等	
--------	--	-------	--

時間割コード	KB7807	ナンバリング	KB-HUM-131	科目分野	一般講義
開講曜日・時限	金5	単位数	1	日英区分	日本語
対象学生	T	対象年次	2年次～4年次		
開講年度	2020年度前期 共通教育（基盤・教養・教育学部以外の教職）				
科目名	人間科学				
担当教員（ローマ字表記）	石井 宏典				
シラバス用備考	【前期】				

## 授業題目/Title

心理学への招待

## 授業の概要/Course Overview

人間理解を目指す心理学の導入講義です。人はみな、それぞれに個性豊かな「わたし」を生きています。では、この「わたし」はどのようにして育まれてきたのでしょうか。「わたし」が形成される過程に焦点をあて、その過程において身近な相手や周囲の環境がどのように影響を及ぼしているのかについて考えます。それは、わたしたちがいかに社会によって方向づけられているのかを自覚する作業でもあります。なお、これまで心理学が築いてきた人間を理解するための方法論についてもふれます。

## キーワード/Keyword(s)

心理学、人格（パーソナリティ）、関係、社会、状況の力、社会化

## 到達目標/Learning Objectives

- 1) 人格（パーソナリティ）が周囲との関係のなかで形成されるという視点を理解できる。
- 2) 人間心理と社会との相互関係について考察する姿勢を身につける。
- 3) 心理学の認識スタイルの特色について理解できる。

## 授業及び授業外の学修/Lesson plans & homework

- 1) シラバスを用いたガイダンス、人間理解と心理学
- 2) 「わたし」へのまなざし
- 3) 個人の内発的な力／状況の力
- 4) 「わたし」が形成される過程：モデリングと鏡に映った自己
- 5) 人格（パーソナリティ）の理論・とらえ方
- 6) 心理学の認識論：「心」を測定する、関係のなかの「心」
- 7) 社会による方向づけ（社会化）と人格形成
- 8) まとめ：人格と社会の相互関係（45分）、試験（45分）

### 【授業外学修】

- 1) 授業後に授業ノートおよび配付資料をもう一度精読する。適宜、関連の辞典などにあたる。
- 2) 授業内容を咀嚼しながら自分が考えたことを整理し、書き出しておく。
- 3) 第3回、6回の授業後には、小レポート課題に取り組む。

### 【アクティブ・ラーニング】

- 1) 第1回、6回には、課題の実施とともに、小集団でのディスカッションを行う。
- 2) 第4回、7回には、小レポートの内容をふまえ、小集団での発表、ディスカッションを行う。

## 履修上の注意/Notes

①毎回授業の内容を復習し、指示された課題をかならず提出すること。②15分以上の遅刻は欠席扱いとなるので注意すること。③小レポートは、授業のなかでいくつか紹介する。

## 情報端末の活用

7回目または8回目でアンケートを実施する予定のため、P C、スマートフォン等を持参すること。

## 成績評価基準/Evaluation criteria

- A + : 授業で扱った知見と考え方を深く理解し、それらをふまえて、人間心理と現代社会についての考察を発展させることができる。
- A : 授業で扱った知見と考え方を理解し、それらをふまえて、人間心理と現代社会について考察できる。
- B : 授業で扱った知見と考え方を概ね理解し、それらをふまえて、人間心理と現代社会について考察できる。
- C : 授業で扱った知見と考え方についてある程度理解し、それらをふまえて、人間心理と現代社会について考察できる。
- D : 授業で扱った知見と考え方が理解できておらず、それらをふまえた人間心理と現代社会についての考察が困難である。

## 成績の評価方法/Grading

授業への取り組み（小レポート提出を中心とする）と最終試験の内容（4：6）をもとに評価する。

## 教科書/Textbook(s)

備考	指定なし。配付資料を用いる。
----	----------------

## 参考書/Reference Book(s)

### 参考書1

書名	いんとろだくしょん社会心理学
著者名	細江達郎ほか
出版社	新曜社
出版年	1990
ISBN	4788503689
教材費	2200

### 参考書2

書名	心理学研究法入門
著者名	南風原朝和ほか
出版社	東京大学出版会
出版年	2001
ISBN	4130120352
教材費	2800

### 参考書3

書名	「私」とは何か
著者名	浜田寿美男
出版社	講談社

出版年	1999
ISBN	4062581701
教材費	1800

### 関連するディプロマ・ポリシーの要素・能力

世界の俯瞰的理解	
専門分野の学力	○
課題解決能力	
コミュニケーション力	△
実践的英語力	
社会人としての姿勢	
地域活性化志向	

### アクティブ・ラーニング型科目

### PBL科目

### 地域志向科目

### 使用言語

### 実務経験のある教員による授業科目

### 実践的教育から構成される授業科目

### 社会人リカレント教育（専門コース・カスタムコース）

授業科目提供		受講条件等	
--------	--	-------	--



時間割コード	KB7808	ナンバリング	KB-HUM-131	科目分野	一般講義
開講曜日・時限	金5	単位数	1	日英区分	日本語
対象学生	T	対象年次	2年次～4年次		
開講年度	2020年度前期 共通教育（基盤・教養・教育学部以外の教職）				
科目名	人間科学				
担当教員（ローマ字表記）	松本 光太郎				
シラバス用備考	【前期】				

## 授業題目/Title

環境心理学入門

## 授業の概要/Course Overview

この授業では、身の周りにある環境に関する講義と課題を通して、私たちの心に関する理解が広がる・深まることを目指します。

## キーワード/Keyword(s)

心理、環境

## 到達目標/Learning Objectives

- ・心理学の知見を理解できる
- ・課題に積極的に取り組むことができる
- ・私たちの身の周りおよび人の心について理解が深まる
- ・地域の具体的な課題に関する理解が進む

## 授業及び授業外の学修/Lesson plans & homework

- 1 シラバスを使ったガイダンス
- 2 講義1：取り囲まれていること
- 3 講義2：動く・出会う
- 4 講義3：知覚と行為
- 5 課題1：具体的課題は授業で告知
- 6 課題1の検討
- 7 課題2：具体的課題は授業で告知
- 8 課題2の検討

### 【授業外学習】

- ・課題に取り組む際に、授業の内容を理解しておくことが必要であるため、復習をしておくこと。

### 【アクティブ・ラーニング】

- ・講義で学んだことを課題を通して、理解を深め、さらに学びを広げていく。
- ・授業終了時には、小レポートを通して理解度の確認を行う。

## 履修上の注意/Notes

## 情報端末の活用

--

## 成績評価基準/Evaluation criteria

- A + : 環境心理学の基本的な知識と考え方を十分に修得し、課題が特に秀でている。  
A : 環境心理学の基本的な知識と考え方を修得し、課題が秀でている。  
B : 環境心理学の基本的な知識と考え方を概ね修得し、標準的な課題を提出している。  
C : 環境心理学の基本的な知識と考え方について最低限の修得をしており、最低限の課題を提出している。  
D : 環境心理学の基本的な知識と考え方が修得できておらず、さらに課題が評価できない。

## 成績の評価方法/Grading

課題が80%、授業時の小レポートが20%。

## 教科書/Textbook(s)

## 参考書/Reference Book(s)

参考書1

書名	生態学的視覚論
著者名	ギブソン
出版社	誠信書房
出版年	1985
ISBN	
教材費	

## 関連するディプロマ・ポリシーの要素・能力

世界の俯瞰的理解	◎
専門分野の学力	◎
課題解決能力	○
コミュニケーション力	○
実践的英語力	△
社会人としての姿勢	◎
地域活性化志向	◎

## アクティブ・ラーニング型科目

○
---

## PBL科目

--

**地域志向科目**

--

**使用言語**

日本語
-----

**実務経験のある教員による授業科目**

--

**実践的教育から構成される授業科目**

--

**社会人リカレント教育（専門コース・カスタムコース）**

授業科目提供		受講条件等	
--------	--	-------	--

時間割コード	KB7810	ナンバリング	KB-HUM-133-GEP,JEP	科目分野	一般講義
開講曜日・時限	木3	単位数	1	日英区分	日本語
対象学生	全学共通	対象年次	2年次～4年次		
開講年度	2020年度前期 共通教育（基盤・教養・教育学部以外の教職）				
科目名	思想・文学				
担当教員（ローマ字表記）	李 珠姫				
シラバス用備考	【前期】				

## 授業題目/Title

Modern Japanese Literature A

## 授業の概要/Course Overview

This course aims to read Japanese literary texts created during the period from the early 1900s through the mid-1920s. In relation to the topics addressed while reading those texts, we will examine the contemporary novel and manga. Students will become familiar not only with the cultural history of Japan in that period, but also with the basic literary theories for critical reading.

## キーワード/Keyword(s)

Modern Japanese Literature, gender, class

## 到達目標/Learning Objectives

Upon completion of this course, students will be able to:  
 Understand the cultural history of prewar Japan.  
 Understand basic concepts in the field of literary studies.  
 Think on contemporary Japan's cultural phenomena from the viewpoint of class and gender.

## 授業及び授業外の学修/Lesson plans & homework

Session 1 Introduction to Course  
 Session 2 Natsume Sōseki's *Kokoro* (1914) as a Melodramatic Fiction  
 Please read Part One, "Sensei and I," in advance.  
 Session 3 *Kokoro* as a Melodramatic Fiction (cont.)  
 Please read Part Two, "My parents and I," and the beginning pages of Part Three (up to Chapter 67) in advance.  
 Session 4 *Kokoro* as a Melodramatic Fiction (cont.)  
 Please read the rest pages of Part Three, "Sensei and His Testament," in advance.  
 Session 5 Okazaki Kyōko's "Chiwawa-chan" (1994): The Politics of Representation  
 Session 6 Tayama Katai's "The Quilt" (1907): I-novel, the Genre of Self-revelation  
 Session 7 Hayama Yoshiki's "Letter in a Cement Barrel"(1925): The Rise of Proletarian Literature after the Great Earthquake of 1923  
 Session 8 Murata Sayaka's *Convenience Store Woman* (2016): The Representation of Women's Labor of Contemporary Japan

Every reading material, except Natsume Sōseki's *Kokoro* and Murata Sayaka's *Convenience Store Woman*, will be provided in the form of PDF file in both English and Japanese. Additionally, please note that Okazaki Kyōko's manga "Chiwawa-chan" is only available in Japanese version.

### 【Reading & Writing assignments】

Before each session, students are responsible for reading the texts in advance. (Homework)

In session 2, 3, 4, and 6, students will solve a quiz about the reading assignment. (Active Learning)

By the end of the course, please submit the writing assignment of 1500 words in English, or 3000 characters in Japanese, regarding one text that you picked up from the texts discussed throughout the course. This paper should include its brief plot summary and three quotations of the scenes that you selected and extracted from the text. Along with kind introductions about each scene, please explain the reason why you selected the scene. The accurate page numbers of the citations should be provided.

## 履修上の注意/Notes

The lecture will be offered in English and partly in Japanese. Students can use both languages when joining discussions or submitting the writing assignment.

Office hour: After class

## 情報端末の活用

The writing assignment must be submitted online via Ibaraki University Information System.

## 成績評価基準/Evaluation criteria

A+ : Students who accurately summarized the plot of the text connecting it to the topics on which they focused and who, based on the extensive reading of the text, well accounted coherently and analytically about the points they considered significant.

A : Students who accurately summarized the plot of the text, and who, based on the extensive reading of the text, coherently accounted about the points they considered significant.

B : Students who accurately summarized the plot of the text in general, and who accounted coherently in general about the points they considered significant.

C : Students who roughly summarized the plot of the text, and who could account to a minimum about the points they considered significant.

D : Students who inaccurately summarized the plot of the text, and who incoherently explained about the points they considered significant.

## 成績の評価方法/Grading

20% Participation in Discussions

30% Reading assignments

50% Major writing assignment

## 教科書/Textbook(s)

教科書1

書名	Kokoro
著者名	Natsume Sōseki ; translated with an introduction and notes by M
出版社	Penguin
出版年	2010
ISBN	0143106031
教材費	1899

## 参考書/Reference Book(s)

参考書1

書名	Convenience Store Woman
著者名	Sayaka Murata
出版社	Granta Books
出版年	2019
ISBN	1846276845
教材費	1166

## 関連するディプロマ・ポリシーの要素・能力

世界の俯瞰的理解	○
専門分野の学力	○
課題解決能力	○
コミュニケーション力	◎
実践的英語力	◎
社会人としての姿勢	○
地域活性化志向	△

## アクティブ・ラーニング型科目

## PBL科目

## 地域志向科目

## 使用言語

## 実務経験のある教員による授業科目

## 実践的教育から構成される授業科目

## 社会人リカレント教育（専門コース・カスタムコース）

授業科目提供		受講条件等	
--------	--	-------	--

時間割コード	KB7811	ナンバリング	KB-HUM-131-JEP	科目分野	一般講義
開講曜日・時限	木3	単位数	1	日英区分	日本語
対象学生	全学共通	対象年次	2年次～4年次		
開講年度	2020年度前期 共通教育（基盤・教養・教育学部以外の教職）				
科目名	思想・文学				
担当教員（ローマ字表記）	櫻井 豪人				
シラバス用備考	【前期】				

## 授業題目/Title

続・変体仮名を読む

## 授業の概要/Course Overview

変体仮名とは明治中期まで用いられていた平仮名のことである。国語史研究や国文学研究を行う者にとって変体仮名の判読能力は必須であるが、そうでない者にとっても、「きそば」「うなぎ」の看板から美術館・博物館の展示資料まで、日常生活の中で変体仮名に接することがある。本講義では、江戸期の変体仮名の判読能力を持つ者に対し、漢字を含んだくずし字文章を講読することにより、漢字のくずし字に対する判読能力を身に付けさせることを目標とする。

## キーワード/Keyword(s)

変体仮名・漢字・くずし字・判読・日本古典文学・国語学・平仮名

## 到達目標/Learning Objectives

- ①変体仮名に加え、漢字のくずし字のいくつかを覚え、文字そのものが読み取れるようになる。
- ②実際の文章にふれて判読のコツをつかみ、文意が把握できるようになる。
- ③江戸期のくずし字で書かれた簡単な漢字仮名交じり文の文学作品について、何も見なくとも解読できるようになる。

## 授業及び授業外の学修/Lesson plans & homework

- 第1回：【授業内容】シラバスを用いたガイダンス・変体仮名の復習  
【授業外学修】授業で習った変体仮名とその字源を覚えてくること。
- 第2回：【授業内容】『宇治拾遺物語』の判読 その1  
【授業外学修】習った変体仮名や漢字のくずし字を覚えてくること。習ったところまでの復習と、次回の授業の予習をしてこること。
- 第3回：【授業内容】『宇治拾遺物語』の判読 その2  
【授業外学修】習った変体仮名や漢字のくずし字を覚えてくること。習ったところまでの復習と、次回の授業の予習をしてこること。
- 第4回：【授業内容】『宇治拾遺物語』の判読 その3  
【授業外学修】習った変体仮名や漢字のくずし字を覚えてくること。習ったところまでの復習と、次回の授業の予習をしてこること。
- 第5回：【授業内容】『宇治拾遺物語』の判読 その4  
【授業外学修】習った変体仮名や漢字のくずし字を覚えてくること。習ったところまでの復習と、次回の授業の予習をしてこること。
- 第6回：【授業内容】『宇治拾遺物語』の判読 その5  
【授業外学修】習った変体仮名や漢字のくずし字を覚えてくること。習ったところまでの復習と、次回の授業の予習をしてこること。
- 第7回：【授業内容】『宇治拾遺物語』の判読 その6



【授業外学修】習った変体仮名や漢字のくずし字を覚えてくること。習ったところまでの復習と、次回の授業の予習をしてこ

と。  
第8回：【授業内容】質問受付および解説（45分）・試験（45分）

## 履修上の注意/Notes

授業時間外の予習・復習を怠ったり、授業に欠席したりすると、十分な判読能力が身につかず、試験に合格できない可能性が高くなるので注意すること。質問は講義終了後に適宜受け付ける。遅刻は認めない。

## 情報端末の活用

情報端末は用いない。

## 成績評価基準/Evaluation criteria

A+：	90点以上100点	到達目標を十分に達成し、きわめて優れた学修成果を上げている。
A	： 80点以上90点未満	到達目標を達成し、優れた学修成果を上げている。
B	： 70点以上80点未満	到達目標と学修成果を概ね達成している。
C	： 60点以上70点未満	合格と認められる最低限の到達目標に届いている。
D	： 60点未満	到達目標に届いておらず、再履修が必要である。

## 成績の評価方法/Grading

期末試験100%。（評価の観点には到達目標の①②③。）期末試験は江戸期の写本または版本の影印から出題し、翻字等の課題を課す。

## 教科書/Textbook(s)

備考	プリントを配布する。
----	------------

## 参考書/Reference Book(s)

参考書1

書名	江戸のかな
著者名	樋口政則
出版社	名著出版
出版年	1991
ISBN	
教材費	3000

## 関連するディプロマ・ポリシーの要素・能力

世界の俯瞰的理解	○
専門分野の学力	◎
課題解決能力	○
コミュニケーション力	△
実践的英語力	△
社会人としての姿勢	△

地域活性化志向	△
---------	---

### アクティブ・ラーニング型科目

--

### PBL科目

--

### 地域志向科目

--

### 使用言語

日本語のみ
-------

### 実務経験のある教員による授業科目

--

### 実践的教育から構成される授業科目

--

### 社会人リカレント教育（専門コース・カスタムコース）

授業科目提供	○	受講条件等	昨年度までに開講した、あるいは今年度1Q木3に開講した「変体仮名を読む」を受講するなどして、江戸期の変体仮名の基本的な判読能力を身に付けていること。
--------	---	-------	--

時間割コード	KB7812	ナンバリング	KB-HUM-131-COE,JEP	科目分野	一般講義
開講曜日・時限	木3	単位数	1	日英区分	日本語
対象学生	全学共通	対象年次	2年次～4年次		
開講年度	2020年度前期 共通教育（基盤・教養・教育学部以外の教職）				
科目名	思想・文学				
担当教員（ローマ字表記）	杉本 妙子				
シラバス用備考	【前期】				

## 授業題目/Title

茨城の方言と民俗

## 授業の概要/Course Overview

地域の暮らしの中で培われてきたことばである方言について、茨城方言を例に理解を深める。テキストを用いて茨城方言を知るとともに、方言に表れている地域の暮らし・生活文化やその変化についても、具体的な方言に触れながら理解を深めていく。さらに、方言談話や方言昔話を聴いたり、身近な暮らしの中で使われている方言について考えたりしながら、方言の持つ働きや意味を考えていく。

## キーワード/Keyword(s)

方言・共通語 茨城方言 茨城の民俗 茨城の暮らし 生活文化 方言談話 昔話と方言

## 到達目標/Learning Objectives

- (1)方言（方言と共通語）について、正しく理解できる。
- (2)茨城方言の特色、他方言との共通性や違い等の知識を深める。
- (3)方言談話や方言昔話をとおして、方言の働きや方言を支える地域の暮らしについて深く理解できる。

## 授業及び授業外の学修/Lesson plans & homework

- 第1回 シラバスを用いて、授業の内容・進め方について説明、「方言」とは？  
（振り返りシート）「方言」とはどのようなものかを、授業の途中と最後にシートに記入し、認識の違いを確認する。
- 第2回 茨城方言を知る①：なぜ「イバラギ」か？～茨城方言の特色～  
（ミニツッパーパー）茨城方言の特色について、新たに知ったことや理解したことをまとめて記入する。
- 第3回 茨城方言を知る②：茨城方言を知ろう、使ってみよう1「ペ・ベ」  
（ロールプレイ）（クリエイティブ・セッション）学んだ茨城方言を使って小グループで会話文を作り、実際に会話のやり取りするなどしながら、茨城方言への理解を深める。
- 第4回 茨城方言を知る③：茨城方言を知ろう、使ってみよう2「さ」「け・げ」  
（ロールプレイ）（クリエイティブ・セッション）学んだ茨城方言を使って小グループで会話文を作り、実際に会話のやり取りするなどしながら、茨城方言への理解を深める。
- 第5回 方言と暮らし①：生活の中の方言と地域的な広がり、暮らしの変化と方言、茨城の民俗  
（録音資料活用学習）方言談話で語られた暮らしについてメモを作りながら録音資料を聴く。
- 第6回 方言と暮らし②：茨城方言のあいさつと暮らし  
（録音資料活用学習）あいさつが地域の暮らしを反映するものであることやあいさつの多様性についてメモを作りながら録音資料を聴く。
- 第7回 方言の持つ意味を考える  
（映像活用学習）提示した方言項目に注目しながら映像（または録音資料）を視聴する。
- 第8回 まとめ（45分）、期末テスト（45分）

【授業外学修】

- (1) 予習として、教科書ならびに事前に配布等するプリントで予備知識をつけておく。
- (2) 復習として、配布プリントや講義内容を見直すとともに、教科書・参考書や各種方言辞典等を参考に理解を深める。
- (3) 課題として、日常生活の中に見られる方言の使用についての観察・考察等の提出を求める。茨城方言や各地の方言について実際に関心を持って聴いてみることや、方言について他者と話してみることも学びの一つとして心がけてほしい。

## 履修上の注意/Notes

授業時の方言会話は積極的に行うこと。身近な暮らしやことば（方言）を日常的に観察するように心がけること。遅刻2回で欠席1回と見なす。授業時間内に若干の質問時間を設ける予定であるが、時間が不足する場合は、授業時間後または電子メールで対応する。

## 情報端末の活用

講義資料（テキスト）は教務情報ポータルシステムで事前配信するので、各自、プリントアウトしておく、PCを持参するなどすること。

## 成績評価基準/Evaluation criteria

- A + : 茨城の方言についての基本的な知識や方言の働きについて十分に理解・修得し、さらに説明できている。  
A : 茨城の方言についての基本的な知識や方言の働きについて修得し、説明できている。  
B : 茨城の方言についての基本的な知識や方言の働きについて概ね修得し、説明できている。  
C : 茨城の方言についての基本的な知識や方言の働きについて最低限の修得をしており、説明できている。  
D : 茨城の方言についての基本的な知識や方言の働きについて修得できておらず、説明もできていない。

## 成績の評価方法/Grading

期末テスト60%、小レポート20%、課題・授業への貢献20%で評価。期末テストでは、到達目標(1)(2)について問う。小レポートでは、到達目標(3)への接近度を確認して評価する。

## 教科書/Textbook(s)

教科書1

書名	しみじみ楽しく茨城のことば
著者名	杉本妙子編
出版社	(茨城大学)
出版年	2015
ISBN	
教材費	0

備考 上記教科書のほか、適宜、プリントを配布等する。

## 参考書/Reference Book(s)

参考書1

書名	日本のふるさとことば集成 第4巻 茨城・栃木
著者名	国立国語研究所編
出版社	国書刊行会
出版年	2002
ISBN	336043647

教材費	6800
-----	------

参考書2

書名	ガイドブック方言研究
著者名	小林隆・篠崎晃一編
出版社	ひつじ書房
出版年	2003
ISBN	4894761831
教材費	1800

参考書3

書名	方言学入門
著者名	木部暢子・他
出版社	三省堂
出版年	2013
ISBN	9784385363936
教材費	1800

参考書4

書名	茨城方言民俗語辞典
著者名	赤城毅彦
出版社	東京堂出版
出版年	1991
ISBN	449012968
教材費	11000

関連するディプロマ・ポリシーの要素・能力

世界の俯瞰的理解	◎
専門分野の学力	
課題解決能力	
コミュニケーション力	○
実践的英語力	
社会人としての姿勢	
地域活性化志向	○

アクティブ・ラーニング型科目

○
---

PBL科目

--

## 地域志向科目

○
---

## 使用言語

日本語のみ
-------

## 実務経験のある教員による授業科目

--

## 実践的教育から構成される授業科目

--

## 社会人リカレント教育（専門コース・カスタムコース）

授業科目提供		受講条件等	
--------	--	-------	--

時間割コード	KB7813	ナンバリング	KB-HUM-131	科目分野	一般講義
開講曜日・時限	木3	単位数	1	日英区分	日本語
対象学生	全学共通	対象年次	2年次～4年次		
開講年度	2020年度前期 共通教育（基盤・教養・教育学部以外の教職）				
科目名	人間科学				
担当教員（ローマ字表記）	田原 敬				
シラバス用備考	【前期】				

## 授業題目/Title

ことばの発達と障害

## 授業の概要/Course Overview

我々がコミュニケーションを行う際に当然のように使用している「ことば」について、乳幼児期から幼児期までを中心に、1) どのようなプロセスを経て獲得するのか、2) 障害があるとことばの獲得にどのような影響が生じるのか、という内容について講義を行う

## キーワード/Keyword(s)

ことばの発達, 乳幼児, 幼児, 障害, 特別支援教育

## 到達目標/Learning Objectives

- ・ことばの発達の概要について論じることができる
- ・障害とことばの発達の関係について概要を論じることができる
- ・ことばの発達に応じた対応の仕方について自分なりの考えを論じることができる

## 授業及び授業外の学修/Lesson plans & homework

- 第1回：シラバスを用いたガイダンス/ことばの遅れについて考える  
 第2回：乳幼児期～3歳頃までの発達  
 第3回：3歳頃～就学前までの発達  
 第4回：発声のメカニズムと構音の問題  
 第5回：ことばの遅れと障害①（聴覚障害など）  
 第6回：ことばの遅れと障害②（発達障害など）  
 第7回：ことばの発達に応じた支援  
 第7.5回：事例の紹介

### 【授業外学習】

- (1) 毎回の授業では事前にポータルシステム上に授業資料を提示しておくので確認しておくこと。
- (2) 授業終了後は、リアクションペーパーに書いた質問項目について自身でも調べておくこと。
- (3) 日常で子どもを見た際に、授業の内容を踏まえその様子を観察することも復習になる。

### 【アクティブ・ラーニング】

- (1) 全体を通してワークシートの使用、映像活用を行う。受講数にも夜が、第7回と第7.5回ではグループワークも予定している。
- (2) 毎回の授業後にリアクションペーパーに授業の要点及び疑問点をまとめて提出する。

全体に共通すること

【リアクションペーパー】毎回の授業において配布し、各回の内容を自分なりにまとめる時間を設ける

## 履修上の注意/Notes

- (1) 原則として授業開始より30分経過以降の遅刻は認めない。
- (2) 毎回の授業時に配られるリアクションペーパーの提出をもって出席とみなす。
- (3) 毎回ポータルシステムを通じて授業資料を配信する。授業時には資料配布を行わないので注意すること（必要があれば各自で印刷等行うこと）。

## 情報端末の活用

履修上の注意を参照。

## 成績評価基準/Evaluation criteria

- A+:到達目標の3点について極めて高いレベルで達成されている。  
A:到達目標の3点について高いレベル以上で達成されている。  
B:到達目標の3点についておおむね以上のレベルで達成されている。  
C:到達目標の3点について最低限のレベル以上において達成されている。  
D:到達目標の3点のうち1点以上について全く達成されていない。

## 成績の評価方法/Grading

期末試験にて成績を評価する（100％）。

## 教科書/Textbook(s)

備考	教科書：特になし
----	----------

## 参考書/Reference Book(s)

参考書1

書名	健診とことばの相談：1歳6か月児健診と3歳児健診を中心に
著者名	中川信子 著
出版社	ぶどう社
出版年	1998
ISBN	978-4892401381
教材費	2000

## 関連するディプロマ・ポリシーの要素・能力

世界の俯瞰的理解	○
専門分野の学力	◎
課題解決能力	
コミュニケーション力	△
実践的英語力	
社会人としての姿勢	



地域活性化志向	
---------	--

### アクティブ・ラーニング型科目

○
---

### PBL科目

--

### 地域志向科目

--

### 使用言語

日本語のみ
-------

### 実務経験のある教員による授業科目

--

### 実践的教育から構成される授業科目

--

### 社会人リカレント教育（専門コース・カスタムコース）

授業科目提供		受講条件等	
--------	--	-------	--

時間割コード	KB7814	ナンバリング	KB-HUM-111	科目分野	一般講義
開講曜日・時限	木3	単位数	1	日英区分	日本語
対象学生	全学共通	対象年次	2年次～4年次		
開講年度	2020年度前期 共通教育（基盤・教養・教育学部以外の教職）				
科目名	人間科学				
担当教員（ローマ字表記）	野口 康彦				
シラバス用備考	【前期】				

## 授業題目/Title

家族の心理

## 授業の概要/Course Overview

学童期と思春期を中心とした、現代社会を生きる子どもの精神発達について学び、恋愛と結婚、離婚など、家族や家族内の人間関係について心理学的な視点から学び、理解を深める。そして、ドメスティック・バイオレンスなど、心理社会的な諸問題について検討する。

## キーワード/Keyword(s)

家族心理、心理発達、学童期、思春期、恋愛、結婚、親の離婚、ドメスティック・バイオレンス

## 到達目標/Learning Objectives

- ①1学童期・思春期を生きる子どもの心理発達について理解を深め、結婚や離婚をめぐる家族の心理について学ぶ。  
 ②ドメスティック・バイオレンスなど、家族や家族内の人間関係について、心理学的な視点から考察する力を身につける。  
 【ディプロマ・ポリシー】②専門分野の学力、③課題解決能力・コミュニケーション力

## 授業及び授業外の学修/Lesson plans & homework

- 1) シラバスを用いたガイダンス 家族とは
- 2) 恋愛の心理
- 3) 結婚の心理
- 4) 学童期の子どもの発達
- 5) 思春期の子どもの発達
- 6) 親の離婚と子ども
- 7) ドメスティック・バイオレンス
- 8) まとめ(45分)、試験(45分)

【授業外学修】

・各授業回で取り扱う内容について、事前にテキストを読むことは当然だが、第4回～第5回については、発達心理学に関する書籍や文献を参考にしながら、専門用語等についても理解を深めておくことが望ましい。

## 履修上の注意/Notes

- ・パワーポイント、VTRなど、視覚的な資料を用いることがあります。
- ・オフィスアワーは、火曜日の昼休みです。
- ・原則として遅刻は認めません。

・予定は変更となる場合があります。

## 情報端末の活用

当該授業内外での情報端末活用はなし。

## 成績評価基準/Evaluation criteria

- A + : 家族の心理に関する心理の基本的な知識と考え方を十分に修得し, 家族の抱える現代的な諸問題について説明できている。  
A : 家族の心理に関するの基本的な知識と考え方を修得し, 家族の抱える現代的な諸問題について説明できている。  
B : 家族の心理に関する基本的な知識と考え方を概ね修得し, 家族の抱える現代的な諸問題について説明できている。  
C : 家族の心理に関する基本的な知識と考え方について最低限の修得をしており, 家族の抱える現代的な諸問題について説明できている。  
D : 家族の心理に関する基本的な知識と考え方が修得できておらず, 家族の抱える現代的な諸問題についての説明ができていない。

## 成績の評価方法/Grading

8回目の授業で行う試験(100%)により評価します。評価の基準は2つの到達目標であり、主として基本的な知識の理解度を中心とした試験問題により評価します。また、試験問題には、2つの到達目標に基づいた論述式の設問も含まれています。

## 教科書/Textbook(s)

教科書1

書名	「家族の心理－新しい家族のかたち」
著者名	小田切紀子・野口康彦・青木聡(編)
出版社	金剛出版
出版年	
ISBN	
教材費	2200

備考	テキスト: 小田切紀子・野口康彦・青木聡(編)(2017)「家族の心理－新しい家族のかたち」金剛出版. 2600円+税. 参考書: 野口康彦・櫻井しのぶ(2011)「子どもの心と臨床発達」. 学陽書房. 2200円
----	--

## 参考書/Reference Book(s)

## 関連するディプロマ・ポリシーの要素・能力

世界の俯瞰的理解	
専門分野の学力	○
課題解決能力	○
コミュニケーション力	
実践的英語力	
社会人としての姿勢	○
地域活性化志向	

## アクティブ・ラーニング型科目

**PBL科目**

--

**地域志向科目**

--

**使用言語**

--

**実務経験のある教員による授業科目**

--

**実践的教育から構成される授業科目**

--

**社会人リカレント教育（専門コース・カスタムコース）**

授業科目提供		受講条件等
--------	--	-------

時間割コード	KB7815	ナンバリング	KB-HUM-111	科目分野	一般講義
開講曜日・時限	金4	単位数	1	日英区分	日本語
対象学生	T A	対象年次	2年次～4年次		
開講年度	2020年度後期 共通教育（基盤・教養・教育学部以外の教職）				
科目名	歴史・考古学				
担当教員（ローマ字表記）	高橋 修				
シラバス用備考	【後期】				

## 授業題目/Title

描かれた戦国合戦の光景－中世日本の戦う男たち－

## 授業の概要/Course Overview

戦国時代の合戦を、極彩色の細密画で豪華絢爛に再現した「戦国合戦図屏風」。投影された屏風絵の図像を鑑賞しながら、戦国時代の合戦に思いを馳せつつ図像を分析・解釈し、その成立の裏側にあった大名家の思惑や意図を読み解きます。

## キーワード/Keyword(s)

歴史学 史料 戦国時代 戦国合戦 大名 合戦図屏風

## 到達目標/Learning Objectives

- ・歴史を復元する素材としての史料について知ることができる。
- ・史料から歴史を復元する過程や方法について知ることができる。
- ・史料が残された背景、史料が語る歴史と語らない歴史について、認識することができる。

## 授業及び授業外の学修/Lesson plans & homework

- 第1回 シラバスを用いたガイダンス ー戦国合戦とは何か？「戦国合戦図屏風」とは何か？ー  
【授業外学修】レジュメ、参考文献を用いて、授業内容の復習をしておくこと
- 第2回 川中島の戦いー謙信・信玄の一騎打ち図像が語るものー  
【授業外学修】レジュメ、参考文献を用いて、授業内容の復習をしておくこと
- 第3回 長篠の戦いー信長ではなく家康の戦勝ー  
【授業外学修】レジュメ、参考文献を用いて、授業内容の復習をしておくこと
- 第4回 長久手の戦いーもうひとつのいくさ物語ー  
【授業外学修】レジュメ、参考文献を用いて、授業内容の復習をしておくこと
- 第5回 関ヶ原の戦いー聳え立つモニュメントー  
【授業外学修】レジュメ、参考文献を用いて、授業内容の復習をしておくこと
- 第6回 大坂冬の陣ー戦場の現実を語るー  
【授業外学修】レジュメ、参考文献を用いて、授業内容の復習をしておくこと
- 第7回 大坂夏の陣ー元和のゲルニカ、合戦の記憶ー  
【授業外学修】レジュメ、参考文献を用いて、授業内容の復習をしておくこと
- 第8回 前半 まとめー戦国合戦はなぜ描かれたのか？ 後半 期末試験  
【授業外学修】レジュメ、参考文献を用いて、授業内容の復習をしておくこと

## 履修上の注意/Notes

パソリで出欠を確認するので、学生証を毎回持参すること（忘れてきた場合は欠席扱いとなる）。

## 情報端末の活用

通常の授業では、情報端末は使用しない。

最終回にはアンケートを実施するので、スマホを使用する。

## 成績評価基準/Evaluation criteria

A + : 日本史学の基本的な知識と考え方を十分に修得し、さらにその仕組みについて説明できている。

A : 日本史学の基本的な知識と考え方を修得し、さらにその仕組みについて説明できている。

B : 日本史学の基本的な知識と考え方を概ね修得し、さらにその仕組みについて説明できている。

C : 日本史学の基本的な知識と考え方について最低限の修得をしており、さらにその仕組みについて説明できている。

D : 日本史学の基本的な知識と考え方が修得できておらず、さらにその仕組みについての説明ができていない。

## 成績の評価方法/Grading

期末試験100%で評価する。

## 教科書/Textbook(s)

備考	教科書 なし。 参考文献 歴史学研究会編『戦争と平和の中近世史』（青木書店）、藤本正行『信長の戦争』（講談社）、谷口央編『関ヶ原合戦の深層』（高志書院）、堀新編『信長公記を読む』（吉川弘文館）、渡辺武『戦国のゲルニカ』（新日本出版社）
----	--

## 参考書/Reference Book(s)

### 参考書1

書名	絵で知る日本史 1～30
著者名	
出版社	集英社
出版年	
ISBN	
教材費	

### 参考書2

書名	図説 戦国合戦図屏風
著者名	
出版社	学研
出版年	
ISBN	
教材費	

### 参考書3

書名	長篠合戦の史料学
----	----------

著者名	
出版社	勉誠出版
出版年	
ISBN	
教材費	

参考書4

書名	もうひとつの川中島合戦
著者名	
出版社	洋泉社
出版年	
ISBN	
教材費	

関連するディプロマ・ポリシーの要素・能力

世界の俯瞰的理解	
専門分野の学力	◎
課題解決能力	◎
コミュニケーション力	
実践的英語力	
社会人としての姿勢	○
地域活性化志向	○

アクティブ・ラーニング型科目

--

PBL科目

--

地域志向科目

--

使用言語

日本語のみ
-------

実務経験のある教員による授業科目

県立博物館学芸員として地域に即した研究を行ってきた教員による講義科目である。
--

## 実践的教育から構成される授業科目

--

## 社会人リカレント教育（専門コース・カスタムコース）

授業科目提供		受講条件等	
--------	--	-------	--



時間割コード	KB7817	ナンバリング	KB-HUM-133-GEP,JEP	科目分野	一般講義
開講曜日・時限	木3	単位数	1	日英区分	日本語
対象学生	全学共通	対象年次	2年次～4年次		
開講年度	2020年度前期 共通教育（基盤・教養・教育学部以外の教職）				
科目名	思想・文学				
担当教員（ローマ字表記）	李 珠姫				
シラバス用備考	【前期】				

## 授業題目/Title

Modern Japanese Literature B

## 授業の概要/Course Overview

This course aims to read Japanese literary texts created since the end 1920s through the mid-1930s. Along with the original literary texts, their film adaptations will be also introduced. Students will become familiar not only with the Japan's cultural history of this period, but also with the basic literary and film theories.

## キーワード/Keyword(s)

Modern Japanese Literature, gender, labor, consumer culture

## 到達目標/Learning Objectives

Upon successful completion of this course, students will be able to:  
 Understand the cultural history of prewar Japan.  
 Acquire basic concepts in the field of Literary and Film studies.  
 Think on contemporary Japan's cultural phenomena from the viewpoint of class and gender.

## 授業及び授業外の学修/Lesson plans & homework

Session 1 Introduction to Course  
 Session 2 Hayashi Fumiko's Diary of Vagabond : The Birth of Mass Society and Women's Labor  
 Session 3 Diary of Vagabond (cont.): The Questions of Women's Literature  
 Session 4 Kobayashi Takiji's The Crab Cannery Ship : The Representation of Gendered Labor in Proletarian Literature  
 Session 5 The Crab Cannery Ship (cont.) : The Life and Death of Kobayashi Takiji  
 Session 6 Sata Ineko's Crimson : Feminist Issues about Domestic Labor  
 Session 7 Crimson (cont.) : The Relationship between Proletarian Writer and Women's Commercial Magazine  
 Session 8 Feminist Issues about Domestic Labor in Contemporary Japan

### 【Reading & Writing assignments】

Students should read each text in advance. Please come class well prepared to offer thoughtful responses to the assigned readings.(Homework)

In session 2, 3, 4, 5, 6 and 7, students will solve a quiz about the text. (Active Learning)

By the end of the course, please submit the paper of 1500 words in English, or 3000 characters in Japanese, regarding one text that you picked up from the texts discussed throughout the course. This paper should include its brief plot summary and three quotations of the scenes you selected and extracted from the text. Along with kind introductions about each scene, please explain the reason why you selected that scene. The information of the sources that you used for citations, and their accurate page

numbers should be provided.

## 履修上の注意/Notes

The lecture will be offered mainly in English and occasionally in Japanese. Students can use both languages when joining discussions or submitting the writing assignment.

Office hour: After class

## 情報端末の活用

The writing assignment must be submitted online via Ibaraki University Information System.

## 成績評価基準/Evaluation criteria

A+ : Students who accurately summarized the plot of the text connecting it to the topics on which they focused and who, based on the extensive reading of the text, well accounted coherently and analytically about the points they considered significant.

A : Students who accurately summarized the plot of the text, and who, based on the extensive reading of the text, coherently accounted about the points they considered significant.

B : Students who accurately summarized the plot of the text in general, and who accounted coherently in general about the points they considered significant.

C : Students who roughly summarized the plot of the text, and who could account to a minimum about the points they considered significant.

D : Students who inaccurately summarized the plot of the text, and who incoherently explained about the points they considered significant.

## 成績の評価方法/Grading

20% Participation in Discussions

30% Reading assignments

50% Major writing assignment

## 教科書/Textbook(s)

備考

Every reading material will be provided in English version in the form of PDF file. Students are allowed to read the original Japanese texts they prepared by themselves.

## 参考書/Reference Book(s)

## 関連するディプロマ・ポリシーの要素・能力

世界の俯瞰的理解	○
専門分野の学力	○
課題解決能力	○
コミュニケーション力	◎
実践的英語力	◎
社会人としての姿勢	○
地域活性化志向	△

---

### アクティブ・ラーニング型科目

○
---

### PBL科目

--

### 地域志向科目

--

### 使用言語

English and Japanese
----------------------

### 実務経験のある教員による授業科目

--

### 実践的教育から構成される授業科目

--

### 社会人リカレント教育（専門コース・カスタムコース）

授業科目提供	受講条件等

時間割コード	KB7821	ナンバリング	KB-HUM-131-JEP	科目分野	一般講義
開講曜日・時限	金5	単位数	1	日英区分	日本語
対象学生	T	対象年次	2年次～4年次		
開講年度	2020年度前期 共通教育（基盤・教養・教育学部以外の教職）				
科目名	思想・文学				
担当教員（ローマ字表記）	伊藤 聡				
シラバス用備考	【前期】				

## 授業題目/Title

子どもと若者をめぐる文化

## 授業の概要/Course Overview

今回扱うテーマは、子どもと若者についてである。現代の日本社会は子どもや若者に甘いといわれる。戦後においてしつけが十分に行われなくなったためだという人もいる。果たして本当にそうなのだろうか。本講義では、前近代社会において、子どもと若者が、社会においていかなる存在と見なされていたのか、教育やしつけなどはどのように行われていたのかを考えたい。

## キーワード/Keyword(s)

童子、子ども、青年、青春、若者組、かぶき者

## 到達目標/Learning Objectives

日本人の過去の精神文化についての知見を広げることを通じ、現代に生きる我々の考え方というものが歴史的な脈にあることを理解し、それをどのように継承、或いは変革していくかを自分なりに考えることができるようにする。

## 授業及び授業外の学修/Lesson plans & homework

### 【授業内容】

- 1、シラバスを用いたガイダンスー現代の子ども観・若者観
- 2、子どもをかわいがる文化  
レスポンスシート提出、翌週に回答・解説。以下同。
- 3、境界人としての子ども
- 4、子どもをめぐる聖と賤
- 5、若者と青春
- 6、若者組の世界
- 7、かぶき者の系譜
- 8、まとめ～あらためて現代の子ども観・若者観を考える。

### 【授業外学修】

講義資料は教務情報ポータルシステムにアップするので、必ず授業前に読んで、分からない用語などは、あらかじめ調べておくこと。

## 履修上の注意/Notes

- ・日本文化、前近代の歴史・文化に関心があることが望ましい。
- ・講義資料は教務情報ポータルシステムで事前配信するので、毎回の授業時にはP Cを持参するか、プリントアウトしたペーパーを持ってくること。

## 情報端末の活用

- ・講義資料は教務情報ポータルシステムで事前配信する。
- ・課題レポートについては、教務情報ポータルシステムを通じて提出すること。

## 成績評価基準/Evaluation criteria

- A + : 授業内容を十分に理解した上で、独自の調査・研究により、優れたオリジナルな成果を上げている。
- A : 授業内容を十分に理解した上で、独自の調査・研究により、優れた成果を上げている。
- B : 授業内容を学修理解した上で、ある程度の成果を上げている。
- C : 授業内容についての理解は十分ではないが、自分の学修等により、ある程度の成果を上げている。
- D : 授業内容をほとんど理解しておらず、一定の学修成果も認められない。

## 成績の評価方法/Grading

レポート(80%)とレスポンスシートの内容(20%)により成績を評価する。レポートの内容は授業中に指示する。  
レポートは到達目標による。

## 教科書/Textbook(s)

備考	教科書：なし（レジメを配布する）。
----	-------------------

## 参考書/Reference Book(s)

### 参考書1

書名	子どもの中世史
著者名	斉藤研一
出版社	吉川弘文館
出版年	2012
ISBN	
教材費	

### 参考書2

書名	出産と生殖の近世
著者名	沢山 美果子
出版社	勁草書房
出版年	1998
ISBN	
教材費	

### 参考書3

書名	日本人のしつけは衰退したか
著者名	広田 照幸
出版社	講談社
出版年	1999
ISBN	

教材費	
-----	--

参考書4

書名	逝きし世の面影
著者名	渡辺京二
出版社	平凡社
出版年	2005
ISBN	
教材費	

参考書5

書名	〈子供〉の誕生—アンシャン・レジーム期の子供と家族生活
著者名	フィリップ・アリエス
出版社	みすず書房
出版年	1980
ISBN	
教材費	

参考書6

書名	武士道とエロス
著者名	氏家幹人
出版社	講談社
出版年	1995
ISBN	
教材費	

参考書7

書名	族の系譜学—ユース・サブカリチャーの戦後史
著者名	難波功士
出版社	青弓社
出版年	2007
ISBN	
教材費	

参考書8

書名	サムライとヤクザ
著者名	氏家幹人
出版社	筑摩書房
出版年	2013
ISBN	
教材費	

参考書9

書名	江戸の子育て
著者名	中江和恵
出版社	文藝春秋社
出版年	2003
ISBN	
教材費	

参考書10

書名	若者と娘をめぐる民俗
著者名	瀬川清子
出版社	未来社
出版年	1972
ISBN	
教材費	

関連するディプロマ・ポリシーの要素・能力

世界の俯瞰的理解	<input checked="" type="radio"/>
専門分野の学力	<input type="radio"/>
課題解決能力	<input type="radio"/>
コミュニケーション力	<input type="radio"/>
実践的英語力	<input type="radio"/>
社会人としての姿勢	<input checked="" type="radio"/>
地域活性化志向	<input checked="" type="radio"/>

アクティブ・ラーニング型科目

PBL科目

地域志向科目

使用言語

実務経験のある教員による授業科目

## 実践的教育から構成される授業科目

--

## 社会人リカレント教育（専門コース・カスタムコース）

授業科目提供		受講条件等	
--------	--	-------	--



時間割コード	KB7822	ナンバリング	KB-HUM-131	科目分野	一般講義
開講曜日・時限	金5	単位数	1	日英区分	日本語
対象学生	T	対象年次	2年次～4年次		
開講年度	2020年度前期 共通教育（基盤・教養・教育学部以外の教職）				
科目名	歴史・考古学				
担当教員（ローマ字表記）	佐々木 啓				
シラバス用備考	【前期】				

## 授業題目/Title

教養としての日本戦後史

## 授業の概要/Course Overview

「戦後」という言葉を聞いたとき、どのようなイメージが思い浮かぶだろうか。平和、民主化、経済成長…様々なことがあるだろう。あるいは、高校までにあまり時間をかけて「戦後史」を学習してこなかったため、イメージがわからないという人もいるかもしれない。本講義では、知っているようで知らない、あるいは、身近でないようで身近な、日本の「戦後史」について、様々な事柄に光をあて、考察する。

## キーワード/Keyword(s)

総力戦 戦後日本 占領 平和 民主化 55年体制 高度経済成長 企業社会 象徴天皇制 新自由主義

## 到達目標/Learning Objectives

- 1) 日本の戦後史について、基本的な流れを理解する。
- 2) 日本の戦後史について、多角的視点で説明できるようになる。
- 3) 現在の日本の諸問題について、歴史的な視点から考察できるようになる。

## 授業及び授業外の学修/Lesson plans & homework

- 第1回：シラバスを用いたガイダンス／「戦後」とはなにか？  
 第2回：日本国憲法の制定と定着  
 第3回：日米安保体制の形成  
 第4回：高度経済成長とは何だったのか  
 第5回：企業社会の時代  
 第6回：新自由主義の時代  
 第7回：在日コリアンの「戦後」  
 第8回：全体のまとめ（45分）と試験（45分）

### 【授業外学修】

- (1) 次回学習する時代や内容については、事前に通告するので、参考文献などで予習し、分からない用語などは、あらかじめ調べておくこと。
- (2) 高等学校で日本史を履修していない場合は、中村政則『戦後史』を一通り読んでおくことが望ましい。

### 【アクティブ・ラーニング】

- (1) 毎回の授業終了時は、コメント用紙に意見や感想、質問を記入する時間をとり、理解度の確認を行う。
- (2) 毎回の授業開始時には、コメント用紙のいくつかを紹介し、質問に答える。

## 履修上の注意/Notes

私語・遅刻厳禁。レジュメを毎回A 3で2枚程度配布するので、保存用のファイル等を準備しておくといよい。オフィスアワーは火曜日の昼休み。

## 情報端末の活用

## 成績評価基準/Evaluation criteria

A+ : 到達目標の3点について極めて高いレベルで達成されている。  
A : 到達目標の3点について高いレベル以上で達成されている。  
B : 到達目標の3点についておおむね以上のレベルで達成されている。  
C : 到達目標の3点について最低限のレベル以上において達成されている。  
D : 到達目標の3点のうち1点以上について全く達成されていない

## 成績の評価方法/Grading

コメントシートの内容(20%)、テストの点数(80%)。  
いずれも到達目標1)~3)を、評価の主要な観点とする。

## 教科書/Textbook(s)

## 参考書/Reference Book(s)

### 参考書1

書名	もういちど読む山川日本戦後史
著者名	老川慶喜著
出版社	山川出版社
出版年	2016
ISBN	4634591138
教材費	

### 参考書2

書名	戦後日本史：時代をラディカルにとらえる
著者名	山田敬男著
出版社	学習の友社
出版年	2009
ISBN	4761706546
教材費	

### 参考書3

書名	戦後史
著者名	中村政則著

出版社	岩波書店
出版年	2005
ISBN	4004309557
教材費	

### 関連するディプロマ・ポリシーの要素・能力

世界の俯瞰的理解	◎
専門分野の学力	
課題解決能力	△
コミュニケーション力	△
実践的英語力	
社会人としての姿勢	
地域活性化志向	

### アクティブ・ラーニング型科目

○
---

### PBL科目

--

### 地域志向科目

--

### 使用言語

日本語
-----

### 実務経験のある教員による授業科目

・高等学校における教諭経験がある教員が、その経験を活かして、歴史の論じ方、他者との共有の方法に関連した講義を行う。
---

### 実践的教育から構成される授業科目

--

### 社会人リカレント教育（専門コース・カスタムコース）

授業科目提供	○	受講条件等	
--------	---	-------	--

時間割コード	KB7823	ナンバリング	KB-HUM-131	科目分野	一般講義
開講曜日・時限	金5	単位数	1	日英区分	日本語
対象学生	T	対象年次	2年次～4年次		
開講年度	2020年度前期 共通教育（基盤・教養・教育学部以外の教職）				
科目名	歴史・考古学				
担当教員（ローマ字表記）	中田 潤				
シラバス用備考	【前期】				

## 授業題目/Title

ヨーロッパの歴史 近代以降のドイツを中心に

## 授業の概要/Course Overview

「現代に生きる私たちは、過去を主体的にとらえることなしに未来への展望をたてることはできない」これはイギリスの外交官でありまた歴史家でもあった、ある人物の言葉である。彼の言葉に従って、現代社会の意味を理解するために、過去の社会を検討してみたい。具体的にはヨーロッパ近現代社会の成立過程をドイツを中心に取り扱っていく。

## キーワード/Keyword(s)

ヨーロッパ, 第一次世界大戦, 第二次世界大戦, 国民国家, 民族対立, ナチズム, ドイツ, ホロコースト, 公共圏, 大衆社会, 国際政治, 平和

## 到達目標/Learning Objectives

1. ヨーロッパにおける国民国家体制と国際秩序の特徴について理解できるようになる
2. 現代社会の持つ歴史的な構造とその問題点を理解する
3. その上で、自律的かつ戦略的な意思決定ができる主体とはいかなるものか、考察できるようになる

## 授業及び授業外の学修/Lesson plans & homework

第1回：シラバスを用いたガイダンス

第2回：ジャガイモから読み解くヨーロッパの歴史

第3回：建築から見るヨーロッパの歴史：古代ギリシャからゴシックまで

第4回：建築から見るヨーロッパの歴史：ルネサンスからポスト・モダンまで

第5回：第一次世界大戦後の国際関係とナチズム体制

第6回：ホロコースト

第7回：ドイツにおける原子力問題の歴史：成長至上主義と市民社会

第8回：エコロジーと再生可能エネルギーの歴史：バイオマス発電を事例に

【授業外学修】予習：次回の内容について、参考文献の関係箇所を読んでおく。復習：自らの作成したノート、参考文献の関係箇所を読み直す。それでも理解できなかった点はオフィスアワー等を活用して、積極的に教員に質問する。さらなる専門性を深めたいと考える場合、積極的に教員の門戸を叩いてください。講義のレベルとは比較にならない世界が、そこにはあります。

【アクティブ・ラーニング】毎回コメントシートの提出

## 履修上の注意/Notes

履修に際しての予備知識は特に要求しませんが、高校で歴史の授業に比較して深い内容に立ち入ることになります。そこで、主体的な学習を可能にするために、下記の参考文献の他、講義の際に指定する文献を平行して読み進めて頂きたいと思います。遅刻は認めません。オフィス

アワーは水曜日の昼休みとアポイントメントをとった上で随時です。（アポイントは各回の講義の終了後をお願いします）

## 情報端末の活用

講義資料は教務情報ポータルシステムで配信するので、PCを準備しておくこと。

## 成績評価基準/Evaluation criteria

- A+：ヨーロッパの歴史の基本的な知識と考え方を十分に修得し、さらにその仕組みについて説明できている。  
A：ヨーロッパの歴史の基本的な知識と考え方を修得し、さらにその仕組みについて説明できている。  
B：ヨーロッパの歴史の基本的な知識と考え方を概ね修得し、さらにその仕組みについて説明できている。  
C：ヨーロッパの歴史の基本的な知識と考え方について最低限の修得をしており、さらにその仕組みについて説明できている。  
D：ヨーロッパの歴史の基本的な知識と考え方が修得できておらず、さらにその仕組みについての説明ができていない。

## 成績の評価方法/Grading

コメントシートの内容等の平常点40%および期末レポート60%。ともに、到達目標1～3の理解度を評価の主要な観点とする。コメントシートおよび期末レポートの課題内容については授業時間内に説明する。

## 教科書/Textbook(s)

## 参考書/Reference Book(s)

### 参考書1

書名	現代の欧米世界：文献解説：西洋近現代史 3
著者名	中野隆生, 中嶋毅 共編
出版社	南窓社
出版年	2011
ISBN	9784816503955
教材費	1714

### 参考書2

書名	二つの世界大戦
著者名	木村靖二 著
出版社	山川出版社
出版年	1996
ISBN	463434470X
教材費	750

### 参考書3

書名	国民国家とナショナリズム
著者名	谷川稔 著
出版社	山川出版社
出版年	1999

ISBN	9784634343504
教材費	729

### 関連するディプロマ・ポリシーの要素・能力

世界の俯瞰的理解	<input type="radio"/>
専門分野の学力	<input type="radio"/>
課題解決能力	<input type="radio"/>
コミュニケーション力	<input type="radio"/>
実践的英語力	
社会人としての姿勢	
地域活性化志向	

### アクティブ・ラーニング型科目

### PBL科目

### 地域志向科目

### 使用言語

### 実務経験のある教員による授業科目

### 実践的教育から構成される授業科目

### 社会人リカレント教育（専門コース・カスタムコース）

授業科目提供		受講条件等	
--------	--	-------	--

時間割コード	KB7827	ナンバリング	KB-HUM-131	科目分野	一般講義
開講曜日・時限	金5	単位数	1	日英区分	日本語
対象学生	T	対象年次	2年次～4年次		
開講年度	2020年度前期 共通教育（基盤・教養・教育学部以外の教職）				
科目名	人間科学				
担当教員（ローマ字表記）	勝二 博亮				
シラバス用備考	【前期】				

## 授業題目/Title

行動の背景にあるもの－心理生理学からわかること－

## 授業の概要/Course Overview

ヒトと会ったり、モノを買ったりするなど、我々の日常生活の中では様々な自己決定がなされるが、実際にはさまざまな法則にしたがって行動している場合も多い。この授業では、日常生活の様々な場面に注目して、その行動の背景にあるものを心理学および生理学的視点から概説していく。

## キーワード/Keyword(s)

心理学 生理学 行動 知覚 認知 脳

## 到達目標/Learning Objectives

ヒトとしての自分あるいは他人を知るために、自ら考える意欲をもって、授業や課題等に積極的に取り組むことができる。さらに、講義では心理学の諸分野からの知見を基に様々な角度から論じていくが、人間の行動に関わる様々な諸機能について確認するとともに、その仕組みを理解できる。

## 授業及び授業外の学修/Lesson plans & homework

- (1)シラバスを用いたガイダンスと導入
- (2)心理学とは
- (3)好意の背景にあるもの
- (4)購買の背景にあるもの
- (5)子どものしつけの背景にあるもの
- (6)無意識に刻み込まれるもの
- (7)意識してもわからないもの
- (8)まとめ（45分）、試験（45分）

### 【授業外学修】

- (1) 講義資料は教務情報ポータルシステムにアップするので、必ず授業前にダウンロードして目を通しておくこと。授業では空欄に書き込んでいくので、資料は各自印刷しておくこと。
- (2) 各授業回で取り扱う内容について、事前に分からない用語などは、あらかじめ調べておくことと理解が進む。
- (3) 各回授業のはじめには振り返りを行うので、学修した内容は復習したうえで授業に臨むことがテスト対策となる。

### 【アクティブ・ラーニング】

- (1) 各回において様々な心理現象について自らの経験をもとにディスカッションする時間を設ける場合がある。
- (2) 毎回の授業終了時は、授業の感想や質問などコメントペーパーにより理解度の確認を行う。

## 履修上の注意/Notes

心理学に関する特別な知識は事前に要求しないが、事前に資料に目を通して予習しておくこと。資料は事前にダウンロードし印刷すること。授業後に調査やレポート課題等を求めることがある。30分以上の遅刻は出席に認めない。オフィス・アワーは月曜日の昼休み。上記の授業日程については、必要に応じて変更する場合もありうる。

## 情報端末の活用

--

## 成績評価基準/Evaluation criteria

- A + : 人間の行動に関わる様々な諸機能とその仕組みに関して十分に修得できている。
- A : 人間の行動に関わる様々な諸機能とその仕組みに関して修得できている。
- B : 人間の行動に関わる様々な諸機能とその仕組みに関して概ね修得できている。
- C : 人間の行動に関わる様々な諸機能とその仕組みに関して最低限修得できている。
- D : 人間の行動に関わる様々な諸機能とその仕組みに関して修得できていない。

## 成績の評価方法/Grading

各教員の授業内容についてどの程度理解しているかを確認するために、8回目に期末試験を実施する。評価比率は試験100%とする。なお、レポート等が期間中に課された場合、優れたものに対しては10%の範囲で加点処理を行う。

## 教科書/Textbook(s)

## 参考書/Reference Book(s)

参考書1

書名	心理学
著者名	鹿取廣人, 杉本敏夫, 烏居修晃 編
出版社	東京大学出版会
出版年	2015
ISBN	9784130121095
教材費	2400

## 関連するディプロマ・ポリシーの要素・能力

世界の俯瞰的理解	
専門分野の学力	
課題解決能力	○
コミュニケーション力	○
実践的英語力	
社会人としての姿勢	○
地域活性化志向	



## アクティブ・ラーニング型科目

○
---

## PBL科目

--

## 地域志向科目

--

## 使用言語

日本語のみ
-------

## 実務経験のある教員による授業科目

--

## 実践的教育から構成される授業科目

--

## 社会人リカレント教育（専門コース・カスタムコース）

授業科目提供		受講条件等
--------	--	-------

時間割コード	KB7841	ナンバリング	KB-HUM-131	科目分野	一般講義
開講曜日・時限	木2	単位数	1	日英区分	日本語
対象学生	A	対象年次	2年次～4年次		
開講年度	2020年度前期 共通教育（基盤・教養・教育学部以外の教職）				
科目名	思想・文学				
担当教員（ローマ字表記）	谷口 基				
シラバス用備考	【前期】				

## 授業題目/Title

近代日本小説の実験性

## 授業の概要/Course Overview

明治期から昭和期までを視野におさめ、日本の近代小説における実験的な試みについて解説します。作品分析のみならず、背景となった時代や社会との関連性についても触れ、受講者が文化と人間との有機的な関係に思いをめぐらせつつ、各々の世界観を広げることができるようなかたちで文学作品に親しむことができるような手引きとなるようにつとめます。

## キーワード/Keyword(s)

小説 神話 民間伝承 深層心理 ミステリ

## 到達目標/Learning Objectives

文学作品の鑑賞を通じて、微妙な心理のゆらぎを注視する感性と理解力を養い、背景となる社会・歴史の実相に思いをめぐらせるとともに、想像力と文化の重要性について深く考察することができるようになる。

## 授業及び授業外の学修/Lesson plans & homework

- 【授業内容】シラバスを用いたガイダンス。授業内容や評価方法の説明なども行う。
- 【授業内容】「自己」を幻視する／文学テーマとしての「自己像幻視」の例について解説。ミニツツペーパー（小課題への回答を含めてコメントを記す。次回授業の最初に担当教員より反映）あり。全2回  
【授業外学修】課題テキストの通読とテーマやプロットに共通性を感じる作品例の探査。
- 【授業内容】「夢」を描く／夢の文法化について。ミニツツペーパー（小課題への回答を含めてコメントを記す。次回授業の最初に担当教員より反映）あり。全2回  
2、【授業内容】「越境」する／常識や世界観を相対化する視座について解説。ミニツツペーパー（小課題への回答を含めてコメントを記す。次回授業の最初に担当教員より反映）あり。全2回。  
【授業外学修】課題テキストの通読とテーマやプロットに共通性を感じる作品例の探査。
- 「虚構」を築く／フィクションにおける真実の可能性について解説。ミニツツペーパー（小課題への回答を含めてコメントを記す。次回授業の最初に担当教員より反映）あり。全2回  
【授業外学修】課題テキストの通読とテーマやプロットに共通性を感じる作品例の探査。
- 【授業内容】「謎」を仕掛ける／物語における「謎」を発見することの意義について解説。ミニツツペーパー（小課題への回答を含めてコメントを記す。次回授業の最初に担当教員より反映）あり。  
【授業外学修】課題テキストの通読とテーマやプロットに共通性を感じる作品例の探査。

## 履修上の注意/Notes

受講希望者が多数になる場合があります。受講者制限はしませんが受講時、さらには入退室のマナーを十分に心がけてください。20分以上の

遅刻は欠席扱いとしますので、注意してください。オフィスアワーは木曜日の昼休みです。

## 情報端末の活用

特にいない。つかわなくていい。

## 成績評価基準/Evaluation criteria

A+ : 90点以上100点	到達目標を十分に達成し、きわめて優れた学修成果を上げている。
A : 80点以上90点未満	到達目標を達成し、優れた学修成果を上げている。
B : 70点以上80点未満	到達目標と学修成果を概ね達成している。
C : 60点以上70点未満	合格と認められる最低限の到達目標に届いている。
D : 60点未満	到達目標に届いておらず、再履修が必要である。

## 成績の評価方法/Grading

授業時提出の小レポートと受講態度（100パーセント）だけです。

## 教科書/Textbook(s)

備考	「教科書：特になし。授業内で関連資料を配付する。」
----	---------------------------

## 参考書/Reference Book(s)

## 関連するディプロマ・ポリシーの要素・能力

世界の俯瞰的理解	◎
専門分野の学力	◎
課題解決能力	
コミュニケーション力	
実践的英語力	
社会人としての姿勢	○
地域活性化志向	

## アクティブ・ラーニング型科目

○

## PBL科目

## 地域志向科目

## 使用言語

日本語

## 実務経験のある教員による授業科目

--

## 実践的教育から構成される授業科目

--

## 社会人リカレント教育（専門コース・カスタムコース）

授業科目提供		受講条件等	
--------	--	-------	--

時間割コード	KB7842	ナンバリング	KB-HUM-131	科目分野	一般講義
開講曜日・時限	木2	単位数	1	日英区分	日本語
対象学生	A	対象年次	2年次～4年次		
開講年度	2020年度前期 共通教育（基盤・教養・教育学部以外の教職）				
科目名	歴史・考古学				
担当教員（ローマ字表記）	伊丹 一浩				
シラバス用備考	【前期】				

## 授業題目/Title

農をめぐる人間と自然との関係史

## 授業の概要/Course Overview

1.農業の意義と特徴に関する基本事項の解説。2.中世ヨーロッパにおける農をめぐる自然と人間に関する基本事項の解説。3.フランスを題材にした農業、地域資源、水害対策における自然と人間に関する基本事項の解説。4.トラクターと肥料の歴史を題材にした自然と人間に関する基本事項の解説。

## キーワード/Keyword(s)

農業、人間、自然、歴史、地域資源、森林、牧野、トラクター、肥料

## 到達目標/Learning Objectives

1.農業の意義と特徴が理解できる。2.中世ヨーロッパにおける農をめぐる自然と人間が理解できる。3.フランスを題材にして、農業、地域資源、水害対策における自然と人間が理解できる。4.トラクターと肥料の歴史を題材にして、自然と人間が理解できる。

## 授業及び授業外の学修/Lesson plans & homework

- 1.シラバスを用いたガイダンスと導入：農業の意義と特徴
- 2.中世ヨーロッパにおける農をめぐる自然と人間
- 3.フランス革命前夜の農業生産と気候（基礎的な文献を題材にしたグループワーク）
- 4.フランスにおける地域資源管理
- 5.フランスにおける森林・牧野の荒廃と水害対策
- 6.トラクターの歴史（基礎的な文献を題材にしたグループワーク）
- 7.肥料の歴史（基礎的な文献を題材にしたグループワーク）
- 8.今後の農のあり方と人間=自然の関係（45分）、試験（45分）

### 【授業外学習】

- 1.概要：授業においてノートができる限り詳しくとるようにし、配付資料や参考書とあわせて、丹念に読み返して、十全な復習を行うとともに、その内容の完全な理解をもって次回授業の予習とすること。
- 2.予習のポイント：次回授業の概要を事前に伝えるようにするので、参考書などで、関連しそうな用語や事柄について調べるなどしておくこと。なお、予習においては、内容を完全に理解する必要はない。わからないことがあってもがっかりすることなく、まずは、とりあえず、目を通すようにすることが重要である。
- 3.復習のポイント：授業時に詳しくとったノートの復習が中心となる。授業終了後、できるだけ速やかにノートを見返すことが望ましい。もし、可能であれば、周りの学生さんと内容確認、ディスカッション、説明、質疑応答などをすると、理解が深まるであろう。そして、同時に、うまく消化しきれない点も明らかとなると思われるので、その場合には、配付資料や参考書を、今一度、読み返したり、メール等を

利用して、教員に質問をするのがよい。実際、毎年、授業後に質問をする学生さんやメールで質問をする学生さんが、少なからず存在する。皆さんの勉強のお手伝いをするべく、教員の方でもできるだけ対応したいと考えている。

#### 【アクティブ・ラーニング】

第3回において、フランス革命前夜の農業生産と気候について基礎的な資料を題材にして、グループワークを行う予定である。関連する事項について、資料を読解し、他の授業などの学修で得たものも含めた知識を参考にしながら、学友とディスカッションを重ねた上で、考察をまとめる作業を予定している。ただ単に受動的に講義を聞くだけではなく、関連事項について能動的に学習することで、内容理解を十全なものにしようとの狙いがある。

第6回においては、トラクターの歴史について、第3回と同様に、基礎的な資料を題材にして、グループワークを行う予定である。関連する事項について、資料を読解し、これまでに得た関連知識だけではなく、他の授業などの学修で得たものも含めた知識を参考にしながら、学友とディスカッションを重ねた上で、考察をまとめる作業を予定している。

第7回においては、肥料の歴史について、第3回、第6回と同様に、基礎的な資料を題材にして、グループワークを行う予定である。関連する事項について、資料を読解し、これまでに得た関連知識だけではなく、他の授業などの学修で得たものも含めた知識を参考にしながら、学友とディスカッションを重ねた上で、考察をまとめる作業を予定している。

## 履修上の注意/Notes

オフィス・アワー：木曜日11:50～12:40。

## 情報端末の活用

## 成績評価基準/Evaluation criteria

- A+：農をめぐる人間と自然との関係史の基本的な知識と考え方を十分に修得し、さらにその仕組みについて説明できている。
- A：農をめぐる人間と自然との関係史の基本的な知識と考え方を修得し、さらにその仕組みについて説明できている。
- B：農をめぐる人間と自然との関係史の基本的な知識と考え方を概ね修得し、さらにその仕組みについて説明できている。
- C：農をめぐる人間と自然との関係史の基本的な知識と考え方について最低限の修得をしており、さらにその仕組みについて説明できている。
- D：農をめぐる人間と自然との関係史の基本的な知識と考え方が修得できておらず、さらにその仕組みについての説明ができていない。

## 成績の評価方法/Grading

期末試験とグループワークに関わる提出物による。おおむね60:40の比率で評価する。

## 教科書/Textbook(s)

備考	特になし
----	------

## 参考書/Reference Book(s)

参考書1

書名	環境・農業・食の歴史
著者名	伊丹一浩
出版社	御茶の水書房
出版年	2012

ISBN	9784275009661
教材費	

参考書2

書名	トラクターの世界史
著者名	藤原辰史
出版社	中公新書
出版年	2017
ISBN	9784121024510
教材費	

参考書3

書名	戦争と農業
著者名	藤原辰史
出版社	集英社インターナショナル新書
出版年	2017
ISBN	9784797680157
教材費	

参考書4

書名	胃袋の近代
著者名	湯澤規子
出版社	名古屋大学出版会
出版年	2018
ISBN	9784815809164
教材費	

関連するディプロマ・ポリシーの要素・能力

世界の俯瞰的理解	◎
専門分野の学力	
課題解決能力	
コミュニケーション力	
実践的英語力	
社会人としての姿勢	
地域活性化志向	

アクティブ・ラーニング型科目

○
---

PBL科目

--

**地域志向科目**

--

**使用言語**

日本語
-----

**実務経験のある教員による授業科目**

--

**実践的教育から構成される授業科目**

--

**社会人リカレント教育（専門コース・カスタムコース）**

授業科目提供		受講条件等
--------	--	-------



時間割コード	KB7843	ナンバリング	KB-HUM-111	科目分野	一般講義
開講曜日・時限	木2	単位数	1	日英区分	日本語
対象学生	A	対象年次	1年次～4年次		
開講年度	2020年度前期 共通教育（基盤・教養・教育学部以外の教職）				
科目名	歴史・考古学				
担当教員（ローマ字表記）	千葉 真由美				
シラバス用備考	【前期】				

## 授業題目/Title

江戸時代を学ぶ

## 授業の概要/Course Overview

江戸時代の政治や社会について、歴史学の最新の研究成果を紹介しながら講義する。

特に古文書や画像史料を読み解きながら、江戸時代の村の運営方法、村の争いと訴訟、女性の活動、子育てや介護といった家族が抱える問題などを取り上げ、村からみた社会を考える。

## キーワード/Keyword(s)

江戸時代 政治 社会 村 訴訟 家族 女性 子育て 教育 介護

## 到達目標/Learning Objectives

中学や高校で学んできたような、「支配する」「支配される」イメージにとらわれない、政治や社会のあり方、村や百姓の営みが理解できる。

当時の人びとが自らの生活を維持、発展させるための努力や活動、意思を知り、子育てや介護の問題など、現代社会が直面している問題と関連づけて考察できる。

## 授業及び授業外の学修/Lesson plans & homework

第1回：シラバスを用いたガイダンス、江戸時代の政治

第2回：江戸幕府の政治改革

第3回：江戸時代の民衆と社会

第4回：争論と訴訟

第5回：家と女性

第6回：子育てと教育

第7回：老いと介護

第8回：まとめ 江戸時代とは

### 【授業外学修】

- ・第1回目の授業の前に、高等学校教科書（日本史B）の江戸時代の村についての記述を確認しておくこと。
- ・第2回目以降は、授業で扱う語句について事前に辞典等で確認しておくこと。授業後は、毎回示す参考文献を読んで理解を深めること。

## 履修上の注意/Notes

講義内容のまとめと各テーマに対する問題意識を記入する用紙を毎回配布します。自分の意見が明確になるような知識を増やすため、授業の中で示した参考書も積極的に読むようにして下さい。

著しい遅刻は欠席とします。

## 情報端末の活用

- ・ 1～7回目での情報端末活用はしない。
- ・ 8回目で授業アンケートを実施する予定のため、PC, スマートフォン等を持参すること。

## 成績評価基準/Evaluation criteria

- A+ : 江戸時代についての基本的な知識と考え方を十分に修得し、その仕組みを説明できている。
- A : 江戸時代についての基本的な知識と考え方を修得し、その仕組みを説明できている。
- B : 江戸時代についての基本的な知識と考え方を概ね修得し、その仕組みを説明できている。
- C : 江戸時代についての基本的な知識と考え方について最低限の修得をしている。
- D : 江戸時代についての基本的な知識と考え方が修得できていない。

## 成績の評価方法/Grading

各回の小レポート（講義内容のまとめと問題意識）：40点（各5点×8回）／レポート：60点

## 教科書/Textbook(s)

備考	教科書：特に指定しない。
----	--------------

## 参考書/Reference Book(s)

### 参考書1

書名	徳川の国家デザイン
著者名	水本邦彦
出版社	小学館
出版年	2008
ISBN	9784096221105
教材費	

### 参考書2

書名	百姓の主張—訴訟と和解の江戸時代—
著者名	渡辺尚志
出版社	柏書房
出版年	2009
ISBN	9784760136858
教材費	

### 参考書3

書名	近世の「家」と家族—子育てをめぐる社会史—
著者名	太田素子
出版社	角川学芸出版
出版年	2011

ISBN	9784047021525
教材費	

### 関連するディプロマ・ポリシーの要素・能力

世界の俯瞰的理解	<input type="radio"/>
専門分野の学力	<input type="radio"/>
課題解決能力	<input type="radio"/>
コミュニケーション力	<input type="radio"/>
実践的英語力	
社会人としての姿勢	<input type="radio"/>
地域活性化志向	

### アクティブ・ラーニング型科目

--

### PBL科目

--

### 地域志向科目

--

### 使用言語

日本語のみ
-------

### 実務経験のある教員による授業科目

高等学校現場における教諭経験のある教員が、その経験を活かして、具体的な学習内容と学習方法について指導する。
---

### 実践的教育から構成される授業科目

--

### 社会人リカレント教育（専門コース・カスタムコース）

授業科目提供		受講条件等	
--------	--	-------	--

時間割コード	KB0781	ナンバリング	KB-HUM-131	科目分野	一般講義
開講曜日・時限	金6	単位数	1	日英区分	日本語
対象学生	T(フレックス、Bコース)	対象年次	2年次～4年次		
開講年度	2020年度前期 共通教育(基盤・教養・教育学部以外の教職)				
科目名	思想・文学				
担当教員(ローマ字表記)	伊藤 聡				
シラバス用備考	【前期】				

## 授業題目/Title

日本人の死生観

## 授業の概要/Course Overview

今年扱うテーマは、日本人の死生観についてである。人は必ず死ぬ。そのことを前近代の日本人(「日本」とよばれる領域に住んでいた人々)は、このことをどのように受け止め、自分の死、肉親・知人の死、他人の死に対してきたかを考える。死後の世界についての思想と信仰、死者の肉体や骨の扱い方、死者への慰霊・記憶の方法などについて取り上げ、現代社会における「死」への向かい方について再考する。

## キーワード/Keyword(s)

死後の世界、地獄・極楽、葬送、肉体、骨、供養絵馬、冥婚、死絵

## 到達目標/Learning Objectives

日本人の過去の精神文化についての知見を広げることを通じ、現代に生きる我々の考え方というものが歴史的な脈にあることを理解し、それをどのように継承、或いは変革していくかを自分なりに考えることができるようにする。

## 授業及び授業外の学修/Lesson plans & homework

### 【授業内容】

- 1、シラバスを用いたガイダンスー現代における死
- 2、日本人の霊魂観  
レスポンスシート提出、翌週に回答・解説。以下同。
- 3、死後の世界①～地獄の創造
- 4、死後の世界②～極楽と浄土信仰
- 5、死体の行方～肉体と骨
- 6、死者の記憶
- 7、子どもの死
- 8、まとめ～あらためて現代における「死」の意味を考える。

### 【授業外学修】

講義資料は教務情報ポータルシステムにアップするので、必ず授業前に読んで、分からない用語などは、あらかじめ調べておくこと。

## 履修上の注意/Notes

・日本史、日本文化あるいは「死」について関心のある学生の参加を期待する。

## 情報端末の活用

- ・講義資料は教務情報ポータルシステムで事前に配信してあるので、各自事前にプリントアウトするか、p cを持参すること。
- ・最終の課題レポートは教務情報ポータルシステムを通じて提出する。

## 成績評価基準/Evaluation criteria

- A + : 授業内容を十分に理解した上で、独自の調査・研究により、優れたオリジナルな成果を上げている。
- A : 授業内容を十分に理解した上で、独自の調査・研究により、優れた成果を上げている。
- B : 授業内容を学修理解した上で、ある程度の成果を上げている。
- C : 授業内容についての理解は十分ではないが、自分の学修等により、ある程度の成果を上げている。
- D : 授業内容をほとんど理解しておらず、一定の学修成果も認められない。

## 成績の評価方法/Grading

レポート(80%)とレスポンスシートの内容(20%)により成績を評価する。レポートの内容は授業中に指示する。  
評価の観点には到達目標による。

## 教科書/Textbook(s)

備考	教科書：なし（レジメを配布する）。 参考書：佐藤弘夫『死者のゆくえ』（岩田書院、¥3084）等。後は教場で指示する。
----	---

## 参考書/Reference Book(s)

### 参考書1

書名	死者のゆくえ
著者名	佐藤弘夫
出版社	岩田書院
出版年	2008
ISBN	
教材費	

### 参考書2

書名	吊いの文化史—日本人の鎮魂の形
著者名	川村邦光
出版社	中央公論新社
出版年	2015
ISBN	
教材費	

### 参考書3

書名	死者の花嫁—葬送と追想の列島史
著者名	佐藤弘夫
出版社	幻戯書房
出版年	2015

ISBN	
教材費	

参考書4

書名	「お墓」の誕生—死者祭祀の民俗誌
著者名	岩田重則
出版社	岩波書店
出版年	2006
ISBN	
教材費	

参考書5

書名	葬式仏教の誕生—中世の仏教革命
著者名	松尾剛次
出版社	平凡社
出版年	
ISBN	
教材費	

参考書6

書名	「死」とは何か
著者名	シェリー・ケーガン
出版社	文響社
出版年	2019
ISBN	
教材費	

参考書7

書名	闇の日本美術
著者名	山本聡美
出版社	筑摩書房
出版年	2018
ISBN	
教材費	

参考書8

書名	地獄めぐり
著者名	加須屋誠
出版社	講談社
出版年	2019
ISBN	
教材費	

参考書9

書名	葬儀と日本人一位牌の比較宗教史
著者名	菊地章太
出版社	筑摩書房
出版年	2011
ISBN	
教材費	

参考書10

書名	死
著者名	ウラジミール・ジャンケレヴィッチ
出版社	みすず書房
出版年	1978
ISBN	
教材費	

関連するディプロマ・ポリシーの要素・能力

世界の俯瞰的理解	◎
専門分野の学力	
課題解決能力	
コミュニケーション力	
実践的英語力	
社会人としての姿勢	◎
地域活性化志向	◎

アクティブ・ラーニング型科目

PBL科目

地域志向科目

使用言語

実務経験のある教員による授業科目

**実践的教育から構成される授業科目**

--

**社会人リカレント教育（専門コース・カスタムコース）**

授業科目提供	受講条件等	
--------	-------	--